



LINN

日本語

CLASSIK MOVIE DI
OWNER'S MANUAL



安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるように、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバス、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. 機器とカートの組合せについては十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発生するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
13. **保護機能付きプラグ**：オーバーロード保護機能を組み込んだ付属プラグが用意されています。プラグのリセットと交換については説明書を参照してください。プラグ交換が必要になったら、もとのプラグと同じオーバーロード保護機能を有するものを使用してください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
15. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。



16. **屋外アンテナの接地:** チューナー/レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サーージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/NFPA 70の810項を参照してください。
17. **雷が鳴り出した場合:** 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
18. **異物や液体の混入:** 本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
19. **サービスが必要になる場合:** 次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
 - a) 電源コードやプラグが破損したとき
 - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
 - c) 製品が雨に濡れたとき
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
 - e) 製品を高いところから落としたとき、キャビネットに破損が生じたとき
20. **サービス:** 操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとなさらないでください。専門技術者にお任せください。

警告

本機器はアースする必要があります。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	1998	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、適切な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。



著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2003 Linn Products Ltd. 初版 2003 年3月

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Glasgow, G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) およびLinn のロゴは、Linn Products Limited の登録商標です。
CLASSIK Movie Di はLinn Products Limited の商標です。

[DTS] および [DTS Digital Surround] は Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。[Dolby] [Pro Logic] [double-D] のマークは、いずれもDolby Laboratories の商標です。

本製品には著作権保護技術が組み込まれており、Macrovision Corporation その他の所有になるアメリカ合衆国特許および他の知的財産権等により保護されています。この著作権保護技術の使用には、Macrovision Corporation による承認が必要であり、同社による承認なしには、家庭その他での限られた閲覧だけが意図されています。改造や分解は禁止されています。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

本製品の供給はライセンスを伴うものではなく、営利目的の放送システム(地上・衛星・ケーブルその他の流通経路)、ストリーミングアプリケーション(インターネット、イントラネット、その他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配送システム(有料オーディオやオーディオオンデマンドなどのアプリケーションその他)、物理的な媒介(CD、デジタル多用途ディスク、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードなど)における、本製品で作成されたコンテンツを配給する権利を与えるものでもありません。そのような用途には、別のライセンスが必要です。詳しくはウェブページ <http://mp3licensing.com> をご覧ください。

MPEG Layer-3 オーディオ・コーデイング・テクノロジーは、Fraunhofer IIS and Thomson よりライセンス許可取得。

目次

はじめに	3
ディスク	3
サラウンドサウンド	3
クリーニング	3
接続する	4
開梱	4
電圧の選択	4
設置する	4
背面パネル (SCART 仕様)	5
背面パネル (Phono 仕様)	6
CLASSIK Movie Di を接続する	7
前面パネルとリモコン	11
前面パネル	11
リモコン	12
リモコンモード	12
映像出力	13
セットアップメニュー	13
セットアップメニューについて	13
一般設定	15
スピーカー設定	16
映像ソース設定	18
音声設定	19
お好み設定	21

ディスクを再生する	23
はじめに	23
前面パネルディスプレイ	23
基本操作	24
ディスクのタイトル/チャプター/トラックの頭出し	25
ダイレクトタイトル選択	25
次/前のチャプター/トラック選択	26
ダイレクトチャプター選択	26
ダイレクトトラック選択	26
トラックの繰り返し再生	26
ディスクの特定ポイントを探す	27
早送り/早戻し(サーチ)	27
スキャン再生/逆再生	27
スロー再生/逆再生(サーチ)	28
スロースキャン再生/逆再生	28
ダイレクトタイム選択	29
プログラム再生を使う	29
ディスクの繰り返し再生	29
チャプター/トラックの繰り返し再生	29
特定個所の繰り返し再生	30
シャッフル再生	30
イントロ再生	30
プログラム再生	30
除外再生	31
DVD メニューを使う	31
タイトル/DVD メニュー	31
DVD をさらに使いこなす	32
字幕選択	32
アングル選択	32
ズームとパン機能	32
その他のファイル形式	33



目次 (続き)

チューナー	34
セットアップ	34
はじめに	34
チューニング機能	34
AM/FMバンドの選択	34
周波数の選択	34
信号サーチ	35
信号スキャン	35
信号ミュートレベル	36
プリセット機能	37
プリセット保存	37
自動プリセット保存	37
プリセット選択	38
プリセット削除	38
サラウンドサウンドとオーディオモード	39
深夜映画モード	39
プリアンプ	40
音量とミュート	40
音量調整	40
ミュートとミュート解除	40
トリム調整	41
サブウーファートリム	41
センタースピーカートリム	41
バランス調整	42
フェーダーバランス	42
マスターバランス	42
低域と高域の調整	43
低域調整	43
高域調整	43

ソースのレコーディング	44
録音録画ロック	44

コネクトシステムの特長	45
コネクトについて	45
コネクトシステムを設定する	45
メインモードとローカルモード	46
メインモードとローカルモードを切り替える	46
レシーバーユニットからドライバーユニットを操作する	46
パーティモード	46
パーティモード制限	47
パーティモードにおける音量操作	47
パーティモードの一時的解除	47

ユーザーオプション	48
ユーザーオプション設定を変える	48
ユーザーオプション一覧表	48

保証とサービス	49
----------------------	-----------

はじめに

ディスク

CLASSIK Movie Di は下記のディスクを再生します。

種類	内容	サイズ
DVD ビデオ	音声 + 映像 (MPEG2)	8cm / 12cm
CD CD-R CD-RW	音声 (MP3) 音声 + 映像 (JPEG, MPEG2)	8cm / 12cm

重要事項: ディスクの規格

承認された規格のディスクすべてについて、国際的な互換性を確保するためにあらゆる努力を行っていますが、現在および将来市場に出るディスクすべてに対する本機器の完璧な作動を保証することは不可能です。弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在出回っている多くのディスクが自社の公表する仕様や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、**特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことはできません。**本機器で再生できないディスクがあり、他社のプレイヤーで再生することができたとしても、それは本機器に欠陥があると示すものではありません。再生に問題があるディスクの詳細については、多くのウェブサイトに掲載されていますから、本機器の性能に対して判断を下す前にこうした公表データを検討なさるようお願いいたします。本機器の性能向上に役立つこともあるため、疑わしいディスクを提出して下さることを歓迎するものではありませんが、そうしたディスクの再生方法を学ぶ可能性について弊社が何らかの保証をしたという根拠に基づいてエンドユーザーからディスクを受領することはできません。

特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないでください。ユニット破損の原因になります。

注 記

本マニュアルにおける「テレビ/TV」には、通常のテレビのほか、プロジェクションテレビやモニターも含まれます。

サラウンドサウンド

本機は下記のロゴマークのサラウンドモードに対応しています。



またデジタル入力のオーディオ信号にも対応しています。

サラウンドサウンドモードに関する詳細は、「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項を参照してください。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。



接続する

ここでは本機の設置およびスピーカー、TVなどとの接続の仕方を説明します。

開 梱

箱には以下の物が同梱されています。

- リモコンとブックレット
- リモコン用単3乾電池(2本)
- AM アンテナ
- FM アンテナ
- 電源コード
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電圧の選択



本機器がご使用の電圧に正しくセットされていることを確認するまでは、コンセントにつながないでください。

本機器は出荷時、230 ボルトに設定されています。**必ず**ご使用の電圧に合わせてから、電源につないでください。電圧のセットは、スクリュードライバーを使って、ユニット後部の電圧セレクターを調節して行います。

電源の供給電圧	電圧セレクターの設定
90V – 126V	115V
207V – 253V	230V



本機器は必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置する

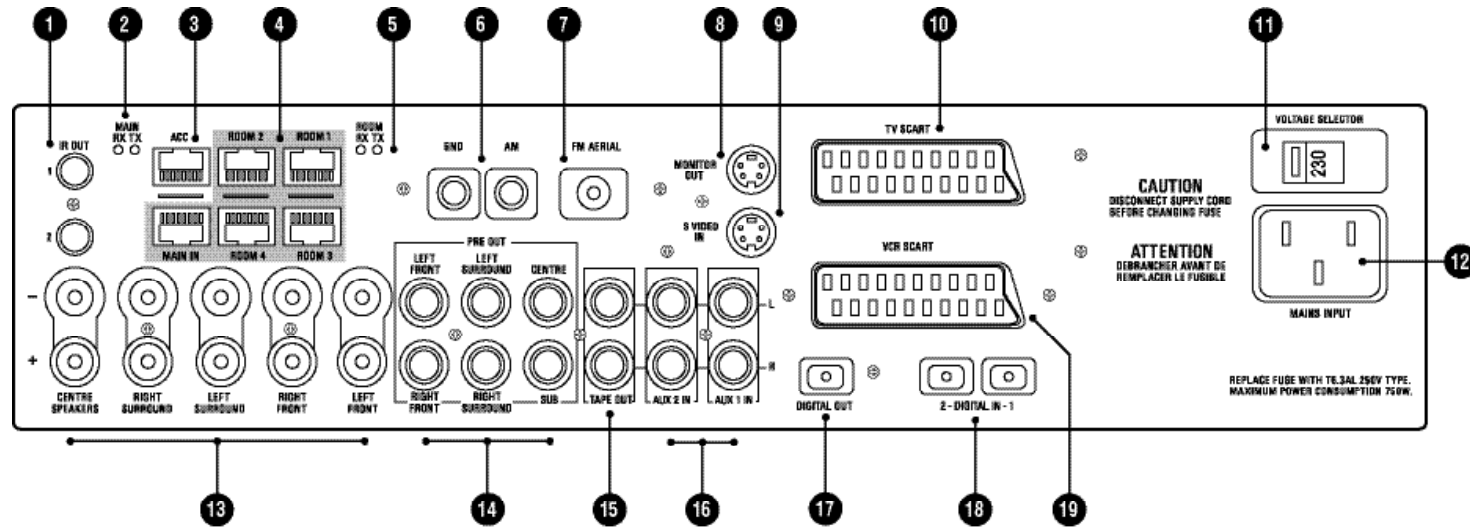
本機はどんな場所にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください。

- 換気のために本機のサイド、後部、上部には10cm 程度の空間をとってください。
- 上部とサイドにある通気孔をふさがないでください。
- リモコンは高感度です。同じ部屋にあれば、どこからでもリモコン操作が可能ですが、本機器は直射日光が当たらないところに置き、操作ウィンドウを覆い隠さないことが大切です。

重 要

ガラス戸の向こうに本体を置いた状態でディスクトレイを開けないようご注意ください。トレイのメカニズムに負担を与えることになります。

背面パネル SCART 仕様


1 IR OUT 1 & 2 赤外線発光端子

赤外線信号を受信する他装置のリモコンを介した操作を可能にします。

2 MAIN RX TX コネクトLED インジケーター

コネクトシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します。

3 ACC KNEKT 接続端子

KNEKT システムとして、動作させるための端子です。

4 ROOM 1 - 4, MAIN IN コネクト接続端子

コネクトシステム内で機器を接続します(「コネクトシステムの特長」参照)。

5 ROOM RX TX コネクトLED インジケーター

コネクトシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します。

6 GND, AM アンテナ端子

AM アンテナを接続します。

7 FM アンテナ端子

FM アンテナを接続します。

8 モニター出力 (S ビデオ出力)

S ビデオ信号を受信するTVを接続します。

9 S ビデオ入力端子

S ビデオ出力端子のあるビデオデッキを接続します。

10 TV SCART

TVのSCART端子に接続します。

11 電圧セレクター

日本国内では115Vの位置でお使いください。

12 電源入力
13 スピーカー出力端子

スピーカーへの接続のための出力端子。

14 プリアウト端子 (ライン出力端子)

パワーアンプ、サブウーファーを接続します。

15 テープ出力端子

カセットデッキ接続用。

16 AUX IN 1 & 2

他機器からのソース用アナログ入力。

17 デジタル出力

デジタル入力のある機器を接続します。

18 デジタル入力1 & 2

他のAV機器のためのデジタルオプティカル入力。

19 ビデオSCART

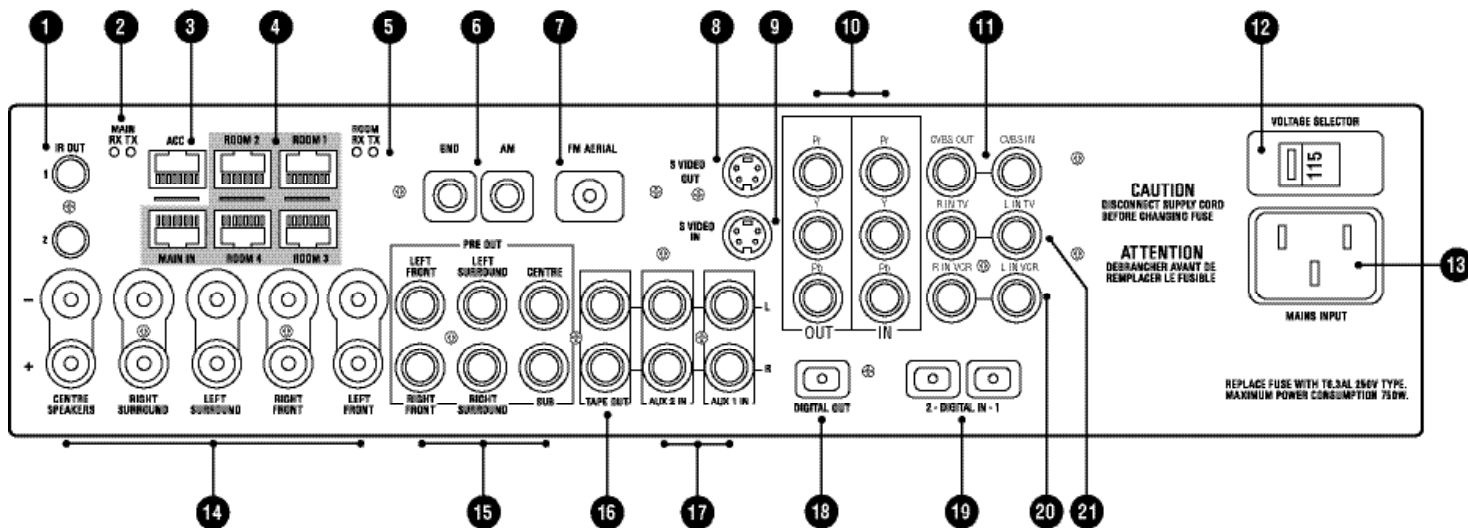
ビデオのSCART端子からの接続。



背面パネルの端子から接続を行う場合、接続を外す場合には、まず本機器のメインスイッチを切り、電源からコードを外してください。これを行わないとサージが発生し、本機器や他のAV機器に損傷を与える恐れがあります。



背面パネル Phono 仕様



- ① **IR OUT 1 & 2** 赤外線発光端子
赤外線信号を受信する他装置のリモコンを介した操作を可能にします。
- ② **MAIN RX TX** コネクトLED インジケーター
コネクトシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します。
- ③ **ACC** KNEKT 接続端子
KNEKT システムとして動作させるための端子です。
- ④ **ROOM 1 - 4, MAIN IN** コネクト接続端子
コネクトシステム内で機器を接続します (「コネクトシステムの特長」参照)。
- ⑤ **ROOM RX TX** コネクトLED インジケーター
コネクトシステムの機器間で信号のやりとりを行っているとき点灯します。
- ⑥ **GND, AM** アンテナ端子
AM アンテナを接続します。
- ⑦ **FM** アンテナ端子
FM アンテナを接続します。
- ⑧ **S ビデオ出力**
S ビデオ信号を受信するTV を接続します。
- ⑨ **S ビデオ入力端子**
S ビデオ出力端子のあるビデオデッキを接続します。
- ⑩ **YPrPb IN & OUT**
コンポーネント入力と出力。
- ⑪ **CVBS IN & OUT**
コンポジット入力と出力。

- ⑫ **電圧セレクター**
- ⑬ **電源入力**
- ⑭ **スピーカー出力端子**
スピーカーへの接続のための出力端子。
- ⑮ **プリアウト ライン出力端子**
パワーアンプとサブウーファーを接続します。
- ⑯ **テープ出力**
カセットデッキ接続用。
- ⑰ **AUX IN 1 & 2**
他機器からのソース用アナログ入力。
- ⑱ **デジタル出力**
デジタル入力のある機器を接続します。
- ⑲ **デジタル入力 1 & 2**
他の AV 機器のためのデジタルオプティカル入力。
- ⑳ **R IN VCR, L IN VCR**
ビデオデッキからの音声入力。
- ㉑ **R IN TV, L IN TV**
TV からの音声入力。



背面パネルの端子から接続を行う場合、接続を外す場合には、まず本機器のメインスイッチを切り、電源からコードを外してください。これを行わないとサージが発生し、本機器や他のAV機器に損傷を与える恐れがあります。

CLASSIK Movie Di を接続する

このセクションで、本機器の接続の詳細を解説します。

注 記

本マニュアルにおける「テレビ/TV」には、通常のテレビのほか、プロジェクションテレビやモニターも含まれます。


電源に接続する

重 要

すべてのAV機器の接続が完了するまでメインスイッチは入れないでください。

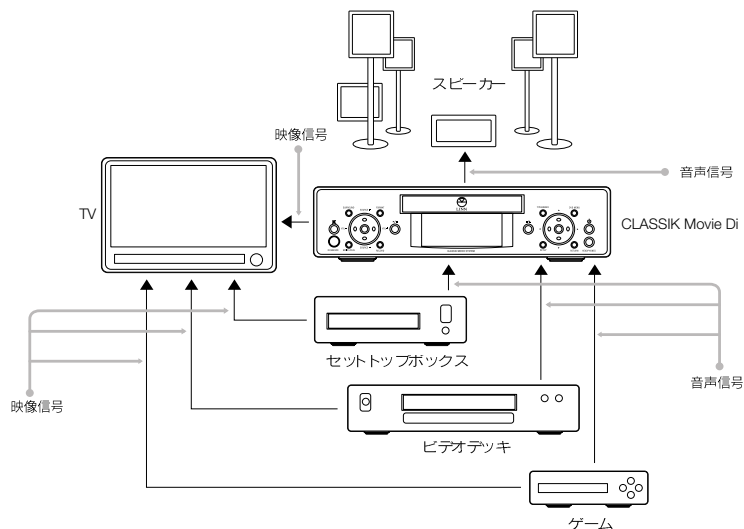
付属の電源コードを用いて、本機器を電源に接続します。

スピーカー、TV、本機を正しく動作させるには初期設定が必要です。詳細は「セットアップメニュー」の項をご参照ください。

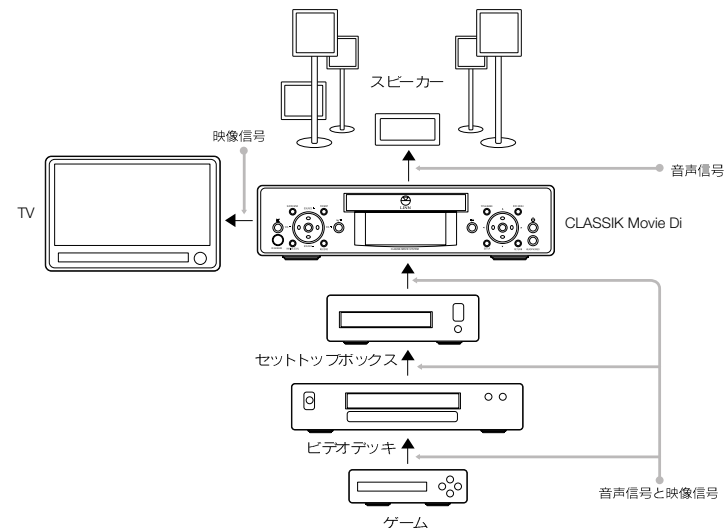
すべての接続が完了したら、メインスイッチを入れてください。前面パネルに  のマークが点灯しているときはスタンバイ状態を表します。

本機器を他のコンポーネントと接続する

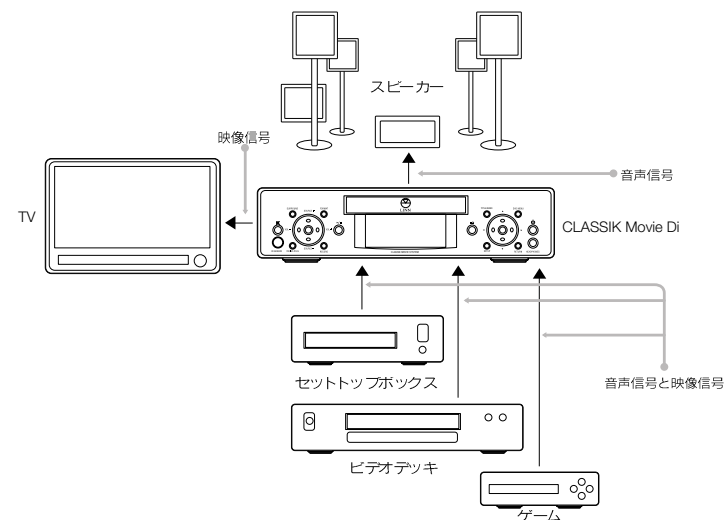
他のAV機器からの映像出力は直接TVに接続し、音声出力を本機器に接続すると、最上の効果が得られます。下図を参照してください。



好みにより、あるいはご使用のTVに十分な接続端子がない場合、音声と映像の出力を本機器に接続することができます。SCART仕様の機器なら、他のコンポーネントを連結し、端子のひとつをユニットに接続することができます。下記の図を参照してください。



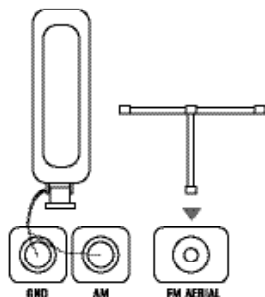
Phono仕様の場合、他機器からの音声出力と映像出力をそれぞれ本機器に接続することができます。下図を参照してください。





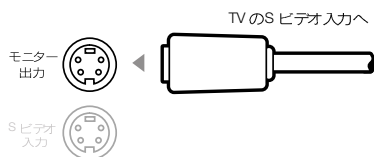
アンテナを接続する

付属のAM/FMアンテナを図のように接続します。

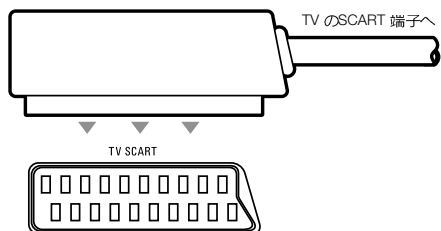


TVを接続する (SCART仕様)

ご使用のTVにSビデオ入力端子がある場合は、図のように接続します。

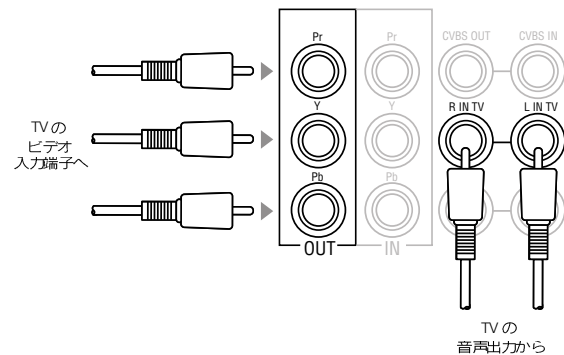


Sビデオ入力端子のないTVの場合は、TVのSCART端子に接続します。

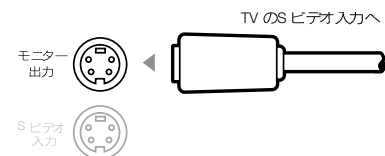


TVを接続する (Phono仕様)

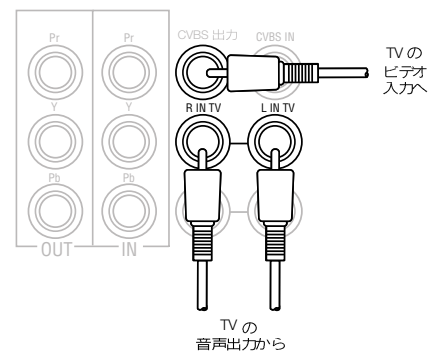
TVにコンポーネント (YPrPb/YUV) 入力端子がある場合は、図のようにTVに接続します。



ご使用のTVにSビデオ入力端子がある場合は、図のように接続します。



TVにコンジット入力端子がある場合は、図のように接続します。

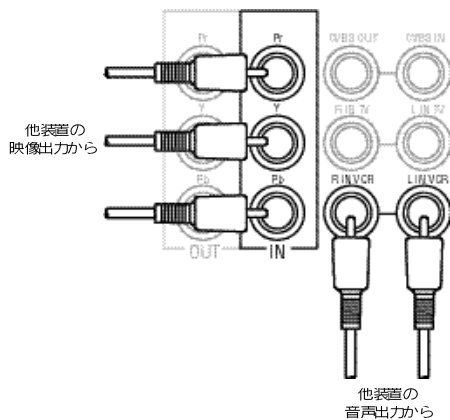


注 記

本機器からの音声信号をTVを介してお聞きになりたい場合は、ユニットのTAPE OUT端子をTVの該当する音声入力に接続してください。

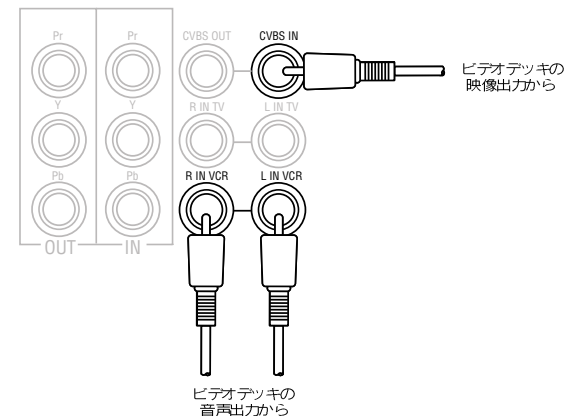
セットトップボックスやHDTV デコーダーを接続する (Phono 仕様のみ)

セットトップボックス、HDTV デコーダー、その他の装置にコンポーネント (YPrPb/YUV) 出力端子がある場合、図のように接続します。



ビデオデッキを接続する (Phono 仕様)

ビデオデッキでどのような接続端子が使えるかにより、本機器を接続します。ビデオデッキの操作説明書を参照してください。



ビデオデッキを接続する (SCART 仕様)

ビデオデッキでどのような接続端子が使えるかにより、本機器を接続します。ビデオデッキの操作説明書を参照してください。

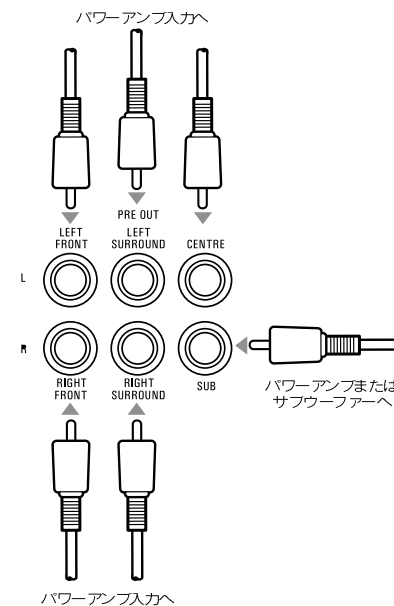


注記

Sビデオ入力端子とVCR SCART端子に、同時に2つの異なるソースを接続しないでください。

外部パワーアンプを接続する

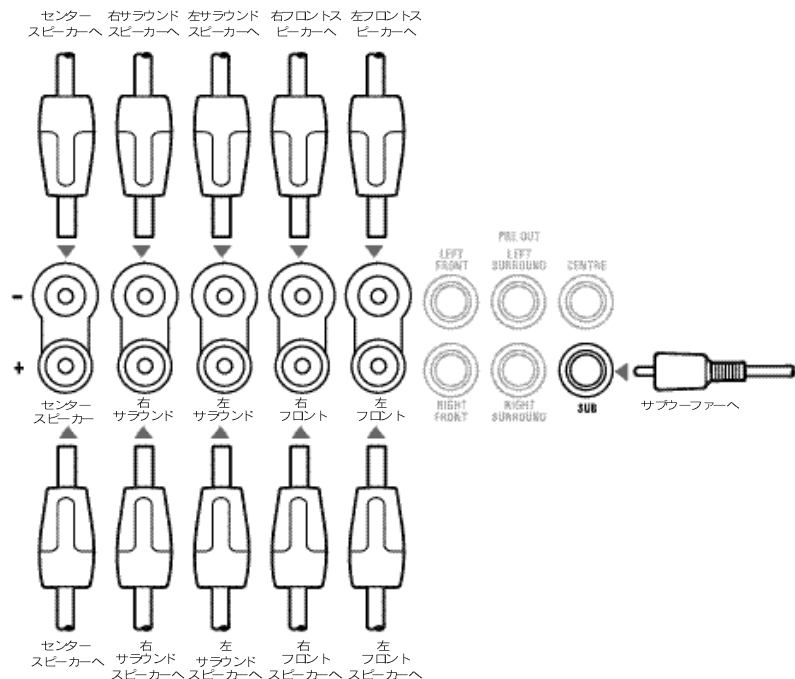
外部パワーアンプを使うとき、下記のように接続します。





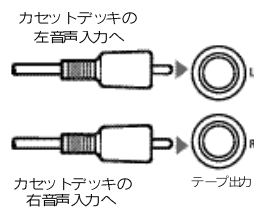
スピーカーを接続する

外部パワーアンプを使用せず、スピーカーを本機器に直接接続する場合は、下図に従ってください。



カセットデッキ(アナログ)を接続する

下図のように接続します。



他のアナログ機器と接続する

本機器の AUX IN 1 または 2 端子を外部音声ソース (MD プレイヤーや外部チューナー) のアナログ出力に接続します。

他のデジタル機器と接続する

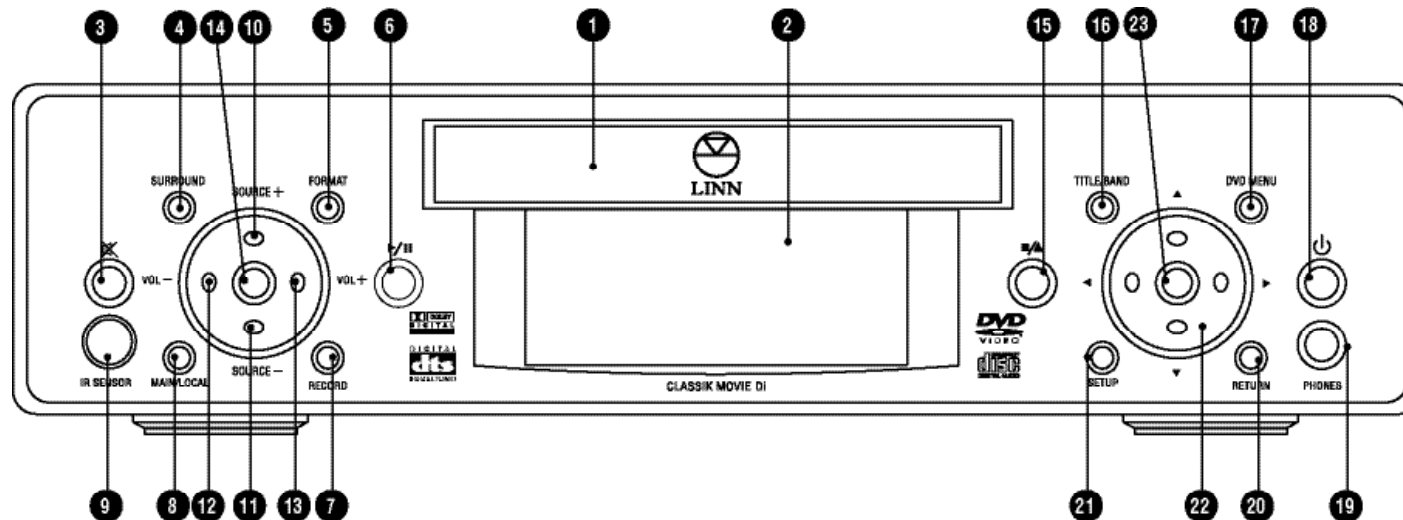
本機器の DIGITAL IN 1 または 2 端子を外部デジタル音声ソース (BS/CS やゲーム) の出力に接続します。

デジタル入力装置と接続する

本機器の DIGITAL OUTPUT をデジタル入力機能のある装置 (MD プレイヤー、デジタルカセットデッキ、外部ホームシネマデコーダーなど) に接続します。

前面パネルとリモコン

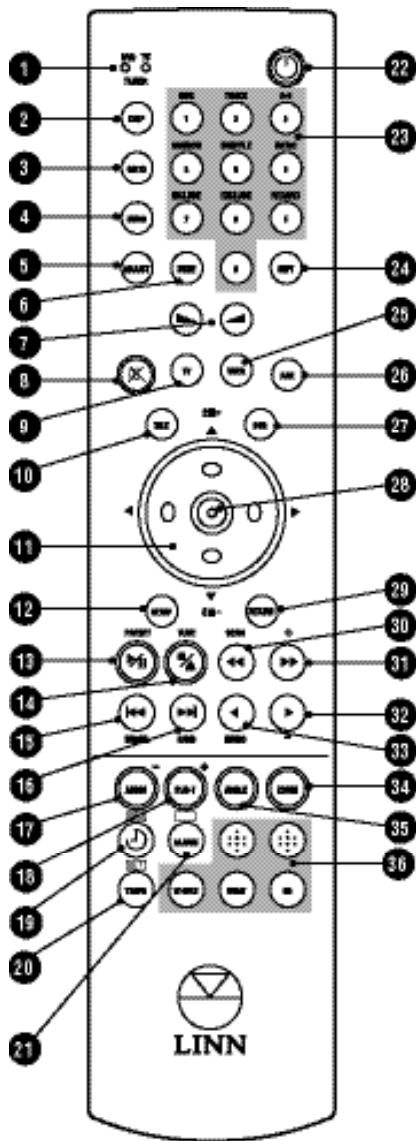
前面パネル



- ① ディスクトレイ
- ② ディスプレイ
- ③  (mute) スピーカー/ヘッドフォンの音をミュート (消音)/ミュート解除します。
- ④ SURROUND サラウンドサウンドフォーマットを選びます。
- ⑤ FORMAT 映像出力信号のタイプを選択します。
- ⑥  (play/pause) ディスクを再生/一時停止します。
- ⑦ RECORD 録音するソースを選びます。
- ⑧ MAIN/LOCAL 本機をコネクシステムでご使用のとき使います。
- ⑨ IR SENSOR リモコンの赤外線信号を受けます。
- ⑩ & ⑪ SOURCE +/- ソースを選びます。
- ⑫ & ⑬ VOL -/+ 音量レベルを調整します。
- ⑭ [adjust] 調整する機能を選び、ボリュームボタンの機能を変更します。
- ⑮  (stop/eject) ディスク再生を停止し、ディスクトレイを開閉します。
- ⑯ TITLE/BAND DVD タイトルメニューを呼び出します。チューナーのFM/AMを切り替えます。
- ⑰ DVD MENU DVD メニューを呼び出します。
- ⑱  (power) 電源のオン/オフ、スタンバイ状態を切り替えます。
- ⑲ PHONES ヘッドフォン端子です。
- ⑳ RETURN 再生しているCDトラックの頭出しをします。
- ㉑ SETUP セットアップメニュー画面を表示/非表示します。
- ㉒  初期設定項目を選び、設定を調整します。
- ㉓ [enter] 設定した項目を決定します。

いくつかのボタンには使用中ソースやモードによって、機能が追加されることがあります。

リモコン



- ① **LEDs** リモコンインジケータ リモコンの信号が送り出されているときに点灯します。
- ② **DISP (ディスプレイ)** ディスク再生中、前面パネルの時間表示を切り替えます。映像出力信号のタイプを選択します。
- ③ **GOTO** ディスクの特定タイトル、チャプター、トラックあるいは時間へ飛びます。
- ④ **SURR (サラウンド)** 音声フォーマットを選びます。
- ⑤ **ADJUST** 調整する機能を選びます。
- ⑥ **STORE** ディスクとチューナーの情報を保存します。
- ⑦ **▶ (volume -) / ◀ (volume +)** 音量レベルを調整します。
- ⑧ **⊗ (mute)** スピーカー/ヘッドフォンの音をミュート (消音)/ミュート解除します。
- ⑨ **TV** TVモードにします。
- ⑩ **TITLE** DVD タイトルメニューを呼び出します。
- ⑪ **CH + / CH - ▲ / ▼ / 1 / 2** TVチャンネルを切り替えます。初期設定項目を選び、項目を調整します。
- ⑫ **SETUP** セットアップメニュー画面を表示/非表示します。
- ⑬ **▶ / || (play/pause) / PRESET** ディスクを再生/一時停止します。チューナープリセットを選びます。
- ⑭ **■ / ▲ (stop/eject) / TUNE** ディスク再生を停止し、ディスクトレイを開閉します。チューナーの周波数を選びます。
- ⑮ **◀◀ / SIGNAL** 前のチャプター/トラックを選びます。チューナー信号の強さを表示します。
- ⑯ **▶▶ / BAND** 次のチャプター/トラックを選びます。チューナーのAM/FMを選びます。
- ⑰ **AUDIO / - * / 赤の高速テキストキー**** DVDの音声を選びます。時計とアラーム機能を設定します*。文字データの操作**。
- ⑱ **SUB-T / + * / 緑の高速テキストキー**** DVDの字幕をオン/オフ、複数字幕がある場合は切り替えます。時計とアラーム機能を設定します*。文字データの操作**。
- ⑲ **🕒 * / [] **** 時刻を設定します*。文字データをオンにします**。
- ⑳ **TIMER * / [] **** タイマーを設定します*。文字データのインデックスページにジャンプします**。

- ㉑ **ALARM * / [] **** アラーム機能を設定します*。文字データをオフにします**。
- ㉒ **🔌 (power)** 電源のオン/オフ、スタンバイ状態を切り替えます。
- ㉓ **数字キー 0-9 / 変更機能***** 数字ボタン。特定の追加機能にアクセスします***。
- ㉔ **SHIFT** 各種ボタンの機能を追加します。
- ㉕ **TUNER** チューナーモードにします。
- ㉖ **AUX** AUX入力を選びソースを出力します。
- ㉗ **DVD** DVD/CDモードにします。
- ㉘ **[enter]** 設定項目を決定します。
- ㉙ **RETURN** 再生中トラックの頭出しをします。
- ㉚ **◀◀ / SCAN** 早戻しします。チューナー信号をスキャンします。
- ㉛ **▶▶ / +** 早送りします。チューナー機能で使います。
- ㉜ **▶ / -** スキャン再生します。チューナー機能で使います。
- ㉝ **◀ / MONO***** スキャン逆再生します。音声出力をモノ/ステレオに切り替えます***。
- ㉞ **ZOOM / 青の高速テキストキー**** 表示画像を拡大します。文字データを操作します**。
- ㉟ **ANGLE / 黄色の高速テキストキー**** DVDのアングルを切り替えます。文字データを操作します**。
- ㊱ **KNEKT 機能** KNEKTシステムをご使用の際に使います。

* 本機に時計、タイマー、アラーム機能はありません。弊社の他製品の設定でお使いください。

** Phono仕様のリモコン装置は、文字データ機能に対応していません。

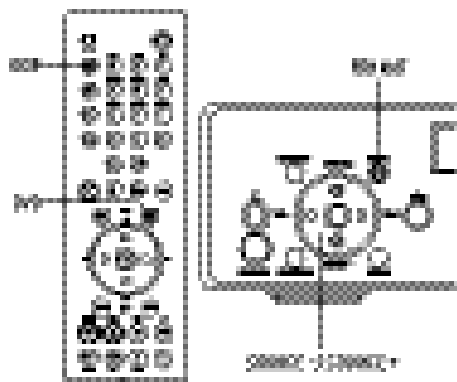
*** RANDOM、MONOは本機では機能しませんのでご了承ください。

リモコンモード

リモコンのソースボタン (DVD、TUNER、TV、AUX) を押すと、選んだソースのモードに入ります。リモコンのボタン機能はソースによって変わるため、思ったように操作できないケースがあります。これは、リモコンと機器本体で異なるソースが選ばれているために起こるものです。操作がきかない場合には、リモコンのソースを選択しなおしてください。

映像出力

CLASSIK Movie Di を設定して操作する前に、本機がテレビに適した映像信号を出力していることを必ず確認してください。



正確な映像出力信号を選択する：

- リモコンの「DVD」を押すかまたは画面に「SOURCE DISC」が表示されるまで前面パネルの「SOURCE +/SOURCE -」を繰り返し押ししてDISCソースを選択します。
- リモコンの「DISP」を押し続けるかまたは前面パネルの「FORMAT」を押します。画面が切り替わり、映像フォーマット (PAL、NTSC、あるいはNATIVE) のいずれか1つが表示されます。
- 「DISP」または「FORMAT」を繰り返し押しすると、画面に必要な映像フォーマットが表示されます (ご使用のテレビが「PAL」、 「NTSC」の両フォーマットに対応している場合は「NATIVE」を選択します)。
- 前面パネルに適切なフォーマットが表示された状態で「DISP」または「FORMAT」を押し続けると、画面が切り替わり、映像信号タイプのいずれか1つ (S VIDEO、COMPOSITE、YPbPr、RGB* のいずれか) が表示されます。
- 必要な映像信号タイプが画面に表示されるまで、「DISP」または「FORMAT」を繰り返し押ししてください。

*CLASSIK Movie Di のPhono仕様では「RGB」は使用できません。

セットアップメニュー

セットアップメニューについて

オンスクリーンでの初期設定により、お使いのスピーカーの数やサイズ、TVの画面フォーマットなどを構成することができます。この初期設定を行うことは本機に接続するAV機器を本体に記憶させる重要な作業です。是非時間をかけて本機の設定を正しく行ってください。

設定には5種類の項目があります。

GENERAL SETUP (一般設定)

本機器の音声と映像の設定一般を調整。

SPEAKER SETUP (スピーカー設定)

お使いのスピーカーの数、サイズ、位置の設定。

VIDEO SOURCE SETUP (映像ソース設定)

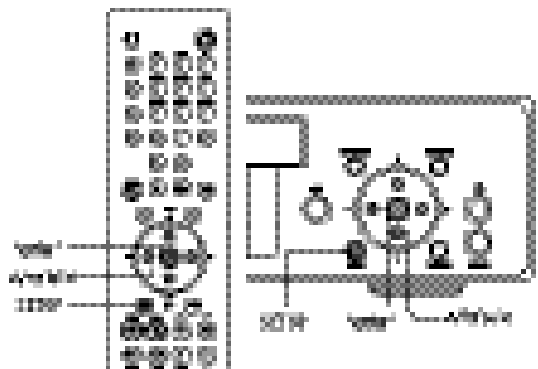
本機器の映像出力を設定。

AUDIO SETUP (音声設定)

本機器の音声出力の設定

PREFERENCES (お好み設定)

字幕や視聴制限などの追加項目の設定 (ディスク再生中この設定はできません)。



SETUP MENU (セットアップメニュー) を呼び出す

TVの電源を入れ、本機の映像出力を表示します。

- リモコンの**DVD**を押します。
- 本体前面パネルまたはリモコンの**SETUP**を押します。TV画面に「SETUP MENU」(セットアップメニュー)の「MAIN PAGE」(メインページ)が表示されます。



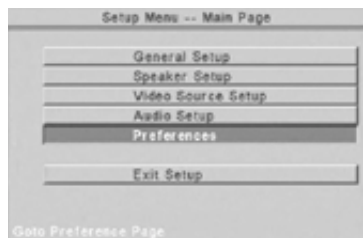
設定項目を選び選択する

- 前面パネルあるいはリモコンの**▲**, **▼**, **◀**, **▶** キーでカーソルを移動します。
- 前面パネルあるいはリモコンの**[enter]**を押します。

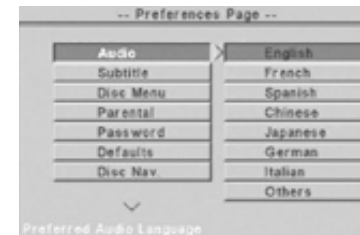
例

DVDの字幕表示を変更するには、以下のように行います。

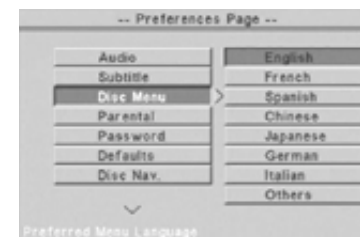
1. 「SETUP MENU」(セットアップメニュー)の「MAIN PAGE」(メインページ)で前面パネルあるいはリモコンの**▼** キーでカーソルを「PREFERENCES」(お好み設定)へ移動します。



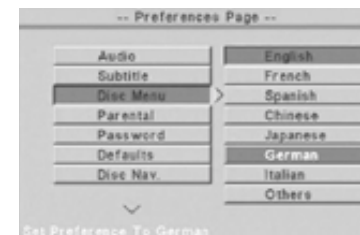
2. 前面パネルまたはリモコンの**[enter]**を押します。「PREFERENCES PAGE」(お好み設定ページ)画面が表示されます。



3. **▼** キーで「DISC MENU」(ディスクメニュー)を選びます。言語一覧が表示されます。



4. **▶** キーでカーソルを言語一覧へ移動します。



5. **▼** キーでカーソルを設定したい言語に移動します。**[enter]**を押します。

SETUP MENU (セットアップメニュー) から出る

- 前面パネルあるいはリモコンの**[SETUP]**を押します。

あるいは

1. 前面パネルの**▼/▲** あるいはリモコンのキーでカーソルをサブメニュー項目の下にある「MAIN PAGE」(メインページ)へ移動します。



2. [enter] を押し、[SETUP MENU] (セットアップメニュー) の [MAIN PAGE] (メインページ) へ戻ります。
3. ▼ キーでカーソルを [EXIT SETUP] (セットアップメニューから出る) へ移動します。[enter] を押しします。

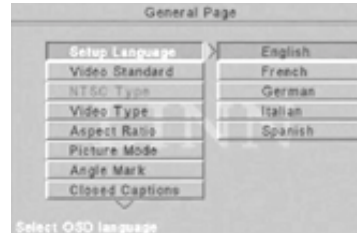
[SETUP MENU] (セットアップメニュー)には項目によって、すぐに変更が反映されるものと、設定画面から出た後に変更が行われるものがあります。



GENERAL SETUP (一般設定)

SETUP LANGUAGE (言語の設定)

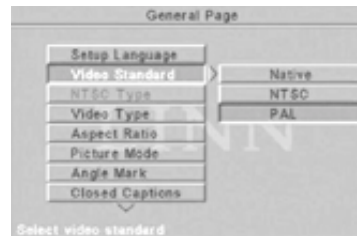
セットアップメニューや画面に表示される情報に使用する言語を選択します。



VIDEO STANDARD (ビデオ規格)

(すでに映像信号規格を選択している場合(「映像出力」の項を参照)、この操作は省いてください。)

お使いのTVが対応している映像信号規格を選びます。NTSC (米国/日本) と PAL (ヨーロッパ) の両方に対応する場合は [NATIVE] (ネイティブ) に設定します。



注 記

TVの種類で [NATIVE] (ネイティブ) を選びDVDを再生すると画面がチラつくことがあります。これは本機が映像信号を切り替える際生じるものです。

ご使用のTVが単一規格しか持たない場合、他の規格で録画されたDVDを本機で再生してもご覧にならないことがあります。

NTSC タイプ (黒レベル)

NTSC 映像信号規格が標準となっている各国用。

このオプションの設定では、「黒レベル」または「ペDESTAL」信号が制御されます。

米国、カナダでは、[NORTH AMERICAN] にセット。
米国、カナダ以外では、[WORLD] にセット。

注 記

本設定は「SCART/コンポジット」と「S映像」出力にのみ有効です。

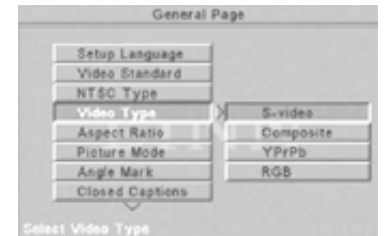


VIDEO TYPE (ビデオの種類)

すでに映像信号規格を選択している場合(「映像出力」の項を参照)、この操作は省いてください。

(クオリティ最高から最低へ)

ご使用のTVがRGB信号に対応し、本機器をそのようにTVに接続している場合は、RGBに設定してください。



ご使用のTVがYPrPbあるいはYUV(コンポーネント)信号に対応し、本機器をそのようにTVに接続している場合は、YPrPbに設定してください。

ご使用のTVがSビデオ信号に対応し、本機器をそのようにTVに接続している場合は、S-VIDEOに設定してください。

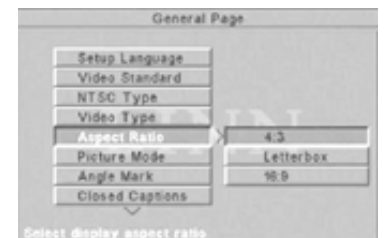
ご使用のTVがSビデオ、RGB、YPrPb/YUVいずれの信号にも対応していない場合は、COMPOSITEに設定します。

注 記

Phono仕様の場合、RGBオプションはありません。

ASPECT RATIO (画面比率)

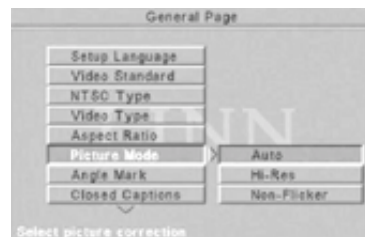
お使いのTVに合う画面サイズを「4:3」、[LETTERBOX] (レターボックス)、「16:9」から選びます。






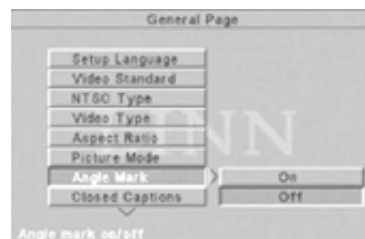
PICTURE MODE (ピクチャーモード)

映画フィルムのショットをデジタルフォーマットに切り替えてDVDに保存するプロセスが原因で、ディスプレイ装置にちらつきが出ることがあります。これを防ぐために、本機では「HIGH RES (高解像)」あるいは「NON-FLICKER (ちらつき防止)」を選択することができます。各DVDビデオによってどちらが適当であるか異なるため、ディスクごとに最適な方法を自動的に判断する「Auto」設定をお使いになることを推奨いたします。



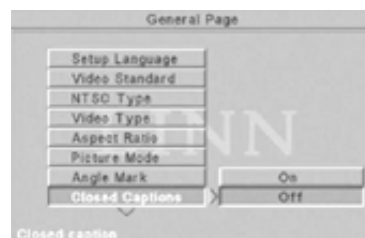
ANGLE MARK (アングルマーク)

設定がオンのとき  マークが画面に表示され、ご覧のDVDがマルチアングル収録された場面であることを知らせます。となりにはカメラアングルの数が表示されます。



CLOSED CAPTIONS (字幕)

DVDの字幕を表示させるときオンに設定します。



SCREEN SAVER (スクリーンセーバー)

静止画を長い時間表示し続けているとTV画面に焼き付いてしまう恐れがあります。この設定をオンにすると3分後にスクリーンセーバー(ブランク画面)に切り替わります。スクリーンセーバーを解除するには前面パネルあるいはリモコンの「enter」を押します。



SPEAKER SETUP (スピーカー設定)

FRONT (フロント)

お使いのスピーカーシステムに合った項目を選びます。

フロントスピーカーが大型(フルレンジ)のとき、「[LARGE]」(ラージ)に設定します。

フロントスピーカーが小型のとき(低音部制限)、「[SMALL]」(スモール)に設定します。



注 記

お使いのフロントスピーカーに選んだ設定は他のスピーカーの設定にも関わってきます。

CENTRE (センター)

システム中のスピーカーに合ったオプションを選びます。

センタースピーカーが大型(フルレンジ)のとき、「[LARGE]」(ラージ)に設定します。

センタースピーカーが小型のとき(低音部制限)、「[SMALL]」(スモール)に設定します。

センタースピーカーを使わないときは、「[OFF]」に設定します。



SURROUND (サラウンド)

システム中のスピーカーに合ったオプションを選びます。

サラウンドスピーカーが大型(フルレンジ)のとき、「[LARGE]」(ラージ)に設定します。

サラウンドスピーカーが小型のとき(低音部制限)、「[SMALL]」(スモール)に設定します。

サラウンドスピーカーを使わないときは、「[OFF]」に設定します。

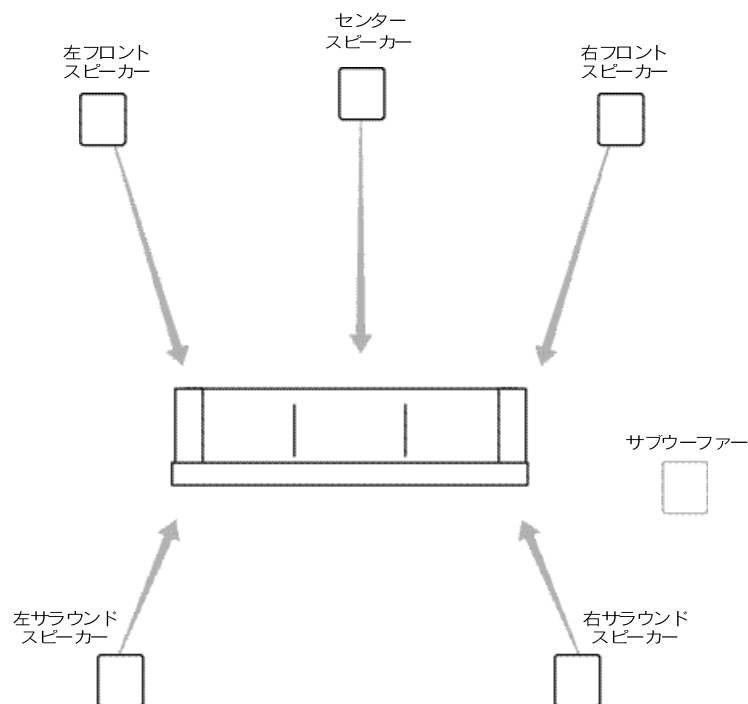


SUBWOOFER (サブウーファー)

サブウーファーを使うとき、「ON」(オン)に設定します。
サブウーファーを使わないとき、「OFF」(オフ)に設定します。



次のメニューでは、本機器にスピーカー位置を設定し、スピーカーの位置に応じて、タイムディレイ(遅延)を決定します。これは全てのスピーカーからの音が耳に届く時間をそろえるものです。



FRONT POSN (フロントポジション)

視聴位置からフロントスピーカーまでの距離を測ります。

前面パネルあるいはリモコンの ▼ キーでカーソルを「5FT/1.5M」に移動し、測った距離に近い数値を選びます(最大30FT/9.2M)。

前面パネルあるいはリモコンの「enter」を押し決定します。

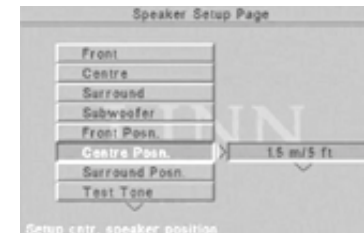


CENTER POSN (センターポジション)

視聴位置からセンタースピーカーまでの距離を測ります。

前面パネルあるいはリモコンの ▼ キーでカーソルを「5FT/1.5M」に移動し、測った距離に近い数値を選びます(最大30FT/9.2M)。

前面パネルあるいはリモコンの「enter」を押し決定します。



SURROUND POSN (サラウンドポジション)

視聴位置からサラウンドスピーカーまでの距離を測ります。

前面パネルあるいはリモコンの ▼ キーでカーソルを「5FT/1.5M」に移動し、測った距離に近い数値を選びます(最大30FT/9.2M)。

前面パネルあるいはリモコンの「enter」を押し決定します。



注 記

サブウーファアのディレイタイムを入力する必要はありません。



TEST TONE (テストトーン)

「ON」(オン) に設定すると、テスト信号がフロント左から時計回りにすべてのスピーカー (サブウーファーは除く) から出力されます。前面パネルのディスプレイには、テスト信号が出ているスピーカーが最も明るく表示されます。



テストトーンには2つの役割があります。

1. スピーカー接続の確認

スピーカーが正しく接続されていないと、時計回りに出力されるはずのテスト信号がきちんと順番に聴こえてきません (これは本機に正しくスピーカーが接続されていないことになります)。テスト信号はサブウーファーからは出力されません。

2. スピーカーの音量調整

視聴位置に届く各スピーカーからの音量が同じであることを確認します (サブウーファーの調整については「サブウーファートリムとプリアンプ」の項を参照してください)。

スピーカー音量調整を行う

- 「TEST TONE」(テストトーン) を「ON」(オン) に設定します。ディスプレイにテストトーン表示が出ます。



- テストトーンが調整したいスピーカーから出力されるまで待ちます。
- リモコンの ◀ / ▶ キーを押しながら (あるいは押し続けながら) 適正音量* に調整します。音量調整範囲は -10 ~ +10 です (標準は0)。

▶ / ◀ キーを離して数秒経つと、テストトーンが時計回りに出力されます。

* 適正音量は、聴感で、あるいは音圧測定器を用いて設定することができます。

VIDEO SOURCE SETUP (映像ソースの設定)

さまざまなソースに対する本機の映像出力信号タイプを決定するメニューです。これは例えば、同時にテレビ放映されているコンサートをチューナーから聴くような場合に役立ちます。この場合は、「TUNER VIDEO」(チューナービデオ) をオフにして、CMSの映像信号を止めます。あるいは、セットトップボックスのSビデオ出力を本機の「S VIDEO IN」(Sビデオ入力) に接続し、セットトップボックスのデジタルオプティカル出力を本機の「DIG 1」入力に接続しているなら、「DIG 1 VIDEO」を「S-VIDEO IN」に設定することになるでしょう。

AUX 1 VIDEO と AUX 2 VIDEO

OFF (オフ): 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機から出力される映像信号はありません。

INTERNAL (インターナル): 「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機は内部映像信号 (Linn スクリーン) を出力します。



COMPOSITE IN (コンポジット・イン): SCART 仕様では、「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のVCR SCART に接続されている映像ソースはどれも、ユニットのTV SCART に送られます。Phono 仕様では、「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のCVBS IN に接続されている映像ソースはどれも、ユニットのCVBS OUT に送られます。

S-VIDEO IN (Sビデオ・イン): SCART・Phono 仕様とも、「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のSビデオ入力に接続されている映像ソースはどれも、ユニットのS映像出力に送られます。SCART 仕様では、「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のVCR SCART に接続されている映像ソースはどれも、ユニットのTV SCART に送られます。

RGB / YPrPb IN: SCART 仕様では、「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のVCR SCART に接続されている映像ソースはどれも、ユニットのTV SCART に送られます。Phono 仕様では「AUX 1」か「AUX 2」のソースいずれかが選択されていれば、本機のYprPb 入力に接続されている映像ソースはどれも、ユニットのYprPb 出力に送られます。

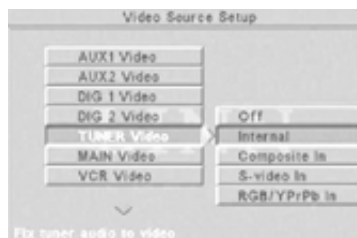
DIG 1 VIDEO と DIG 2 VIDEO

「AUX 1」「AUX 2」のソースと同様です。



TUNER VIDEO (チューナービデオ)

「AUX 1」「AUX 2」のソースと同様です。



MAIN VIDEO (メインビデオ) (KNEKT システム用。詳しくは KNEKT 説明書をご覧ください。)

「AUX 1」「AUX 2」のソースと同様です。



VCR VIDEO (VCR ビデオ)

「AUX 1」「AUX 2」のソースと同様ですが、「OFF」「INTERNAL」のオプションは使えません。



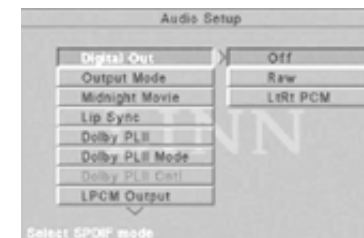
AUDIO SETUP (音声設定)

DIGITAL OUT (デジタル出力)

ユニットを単体でご使用の場合(すなわち外部デコーダーなしのとき)、「OFF」(オフ)に設定します。

外部音声デコーダーをお使いのとき、「RAW」に設定します。

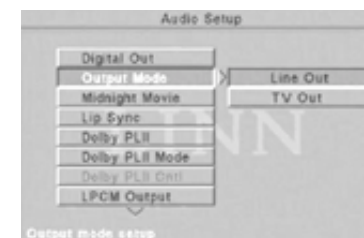
外部デジタルソース (DAT など) へ録音するとき、「LtRt PCM」に設定します。



OUTPUT MODE (出力モード)

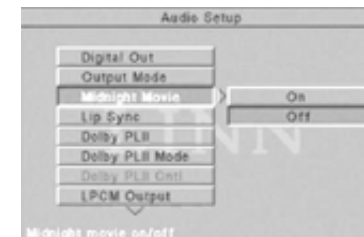
TV以外のスピーカーをお使いのとき、「LINE OUT」に設定します。

TVの内蔵スピーカーのみをお使いのとき、「TV OUT」に設定します。



MIDNIGHT MOVIE (深夜映画)

DVD ビデオでドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とす機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。信号を圧縮して音量を落としたいときは「ON」に設定します。

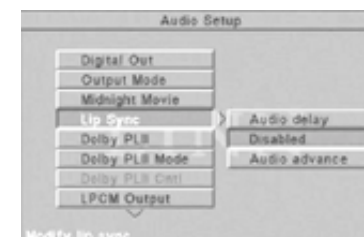


LIP SYNC (ダイナミック)

この機能を使用すると、本機の音声出力を若干遅らせたり、進めたりすることができます。映像ソースを見ているときに俳優の口の動きと音声合わない場合、この機能の使用が必要となる場合があります。

ご使用のAV システムでラインダブラーを使用する場合、「AUDIO DELAY」に設定します。

外部の映像ソースにドルビープロロジックII エンコーティングを適用する場合、「AUDIO ADVANCE」に設定します。

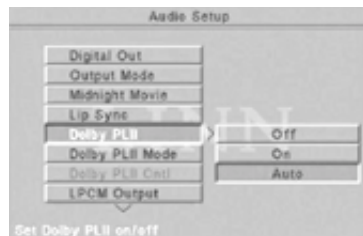




DOLBY PRO LOGIC II (ドルビープロロジックII)

DVDの場合

- OFF** - DVDのステレオ音声をステレオで再生します。
- ON** - DVDのステレオ音声をステレオあるいは5チャンネルで再生します(音声モードの選択によります。詳細は「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項をご参照ください)。
- AUTO** - DVDに記録されている信号を読み取り、自動的に音声フォーマットを選びます。



その他のステレオソースの場合

- OFF** - ステレオソースを常にステレオで再生します。
- ON または AUTO** - ステレオ音声をステレオあるいは5チャンネルで再生します(音声モードの選択によります。詳細は「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項をご参照ください)。

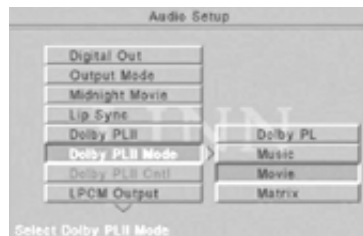
DOLBY PRO LOGIC II MODE (ドルビープロロジックIIモード)

(本機にフロント、センター、リアのスピーカーを接続したときに適用)

ドルビープロロジックIIは、内部または他機器のあらゆるソース(オーディオCD、ステレオチューナー信号、TV/映像音声信号)から5chの出力音声を作り出します。先進的なサラウンドデコーダーが、オリジナルレコーディング/信号がもっている空間的な広がりを余分なサウンドを追加することなしに、再生します。本機では、プロロジックII機能の5つのモードを提供します。

Dolby Pro Logic (ドルビープロロジック)

オリジナル・プロロジックによるサウンドプロセッシングを再現します。「PRO LOGIC」設定は、ソース品質が良好ではない場合(摩耗したビデオテープなど)に適しています。



Music (ミュージック)

名称の通り、音楽を聴く場合に適したモードです。「MUSIC」モードを選ぶと、「PRO LOGIC II CONTROL」メニューから「Pro Logic II」のパラメータを調整することができます(下記を参照のこと)。

Movie (ムービー)

DVDをご覧になるときの推奨モードです。

Matrix (マトリックス)

「MATRIX」モードは、モノ信号(AM放送)を豊かに聴かせます。

DOLBY PRO LOGIC II CONTROL (ドルビープロロジックIIコントロール)

「DOLBY PRO LOGIC II MODE」メニューで「MUSIC」を選定した場合、「DOLBY PRO LOGIC II CONTROL」メニューに入れるようになります。「PRO LOGIC II CONTROL」にカーソルを合わせ、「enter」を押すと、「PRO LOGIC II CONTROL」画面が表示されます。

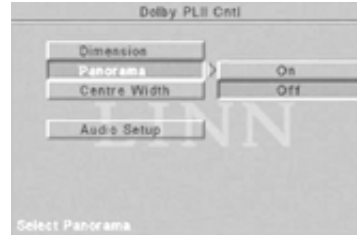
Dimension (ディメンション)

「DIMENSION」コントロールで、フロントとサラウンドのスピーカー間バランスを変えることができます。プラス値にするとサウンドがフロントへ、マイナス値にするとリアへ移動します。サラウンドスピーカーからのサウンドが広がりすぎている、また強すぎると感じられたら、「前へ」移動してバランスを調整します。ステレオ録音のソースなら、サウンドを「後ろへ」移動して、臨場感を高めることができます。



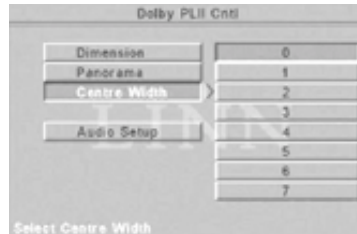
Panorama (パノラマ)

これをオンにすると、「PANORAMA」コントロールがフロント左右スピーカーからの音声信号を拡張し、サラウンド左右のスピーカーまで抱合します。これにより、サウンドに「包まれる」ような効果が生じます。



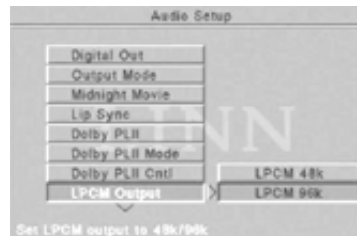
Centre Width (センター幅)

センタースピーカーとフロント左右スピーカー間の音声信号の調整を可能にするコントロールです。
 [0] に設定すると、センターチャンネルへの音声信号すべてがセンタースピーカーに送られます。
 [3] にすると、センターチャンネル信号の一部がフロント左右スピーカーに送られます。
 [7] にすると、センターチャンネル信号の全てが、フロント左右スピーカーに等分に分配されます。



LPCM OUTPUT (LPCM 出力)

外部デコーダーで音声信号を処理していて、そのデコーダーが96K サンプルレートをサポートしない場合、48K に設定してください。

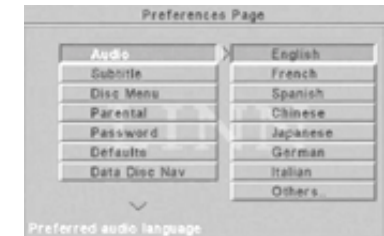


PREFERENCE (お好み設定)

AUDIO (音声)*

お好みの音声言語を設定します。

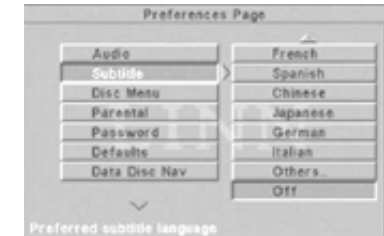
表示されている以外の言語を選ぶときはカーソルを[OTHERS]へ移動し、「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4ケタのコードを入力し、「enter」を押します。言語コード表は、www.classik.com をご覧ください。



SUBTITLE (字幕)*

お好みの字幕言語を設定します。この項目が「OFF」設定でもDVDによっては字幕が表示されることがあります。そのときはリモコンの「SUB-T」を押して字幕を消してください。

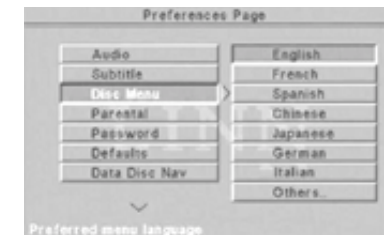
表示されている以外の言語を選ぶときはカーソルを[OTHERS]へ移動し、「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4ケタのコードを入力し、「enter」を押します。言語コード表は、www.classik.com をご覧ください。



DISC MENU (ディスクメニュー)*

お好みのDVDメニュー言語を設定します。この項目は複数のディスクメニュー言語を収録したDVDの場合にのみ有効です。

表示されている以外の言語を選ぶときはカーソルを[OTHERS]へ移動し、「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4ケタのコードを入力してください。言語コード表は、www.classik.com をご覧ください。

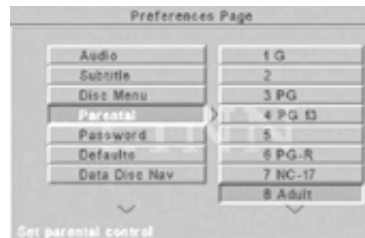


* 選んだ言語に関わらず、ご覧になっているDVDに収録された言語を再生します。



PARENTAL (視聴制限)

このメニューは、特定のDVDを入れたとき鑑賞できないように年齢制限を行う設定をします*。



視聴制限を設定・変更する

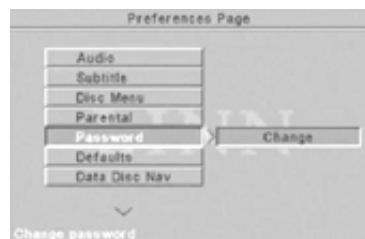
1. カーソルを年齢制限したいレベルに移動し、「enter」を押します。暗証番号の証明画面が表示されます。
2. リモコンの数字キーで4ケタの暗証番号を入力します(工場出荷時は3308です)。
3. 指示に従って「enter」を押します。
4. 設定画面から出ると、変更が有効になります。

* DVD に正しい情報が入っていないと、視聴制限は機能しません。

PASSWORD (パスワード)

4ケタの暗証番号を設定・変更する

1. カーソルを「CHANGE」に移動し、「enter」を押すと、暗証番号変更画面が出ます。
2. リモコンの数字キーでこれまでの4ケタの暗証番号を入力します(工場出荷時は3308です)。
3. 新しい暗証番号を入力し、さらにその下にもう一度入力します。
4. 指示に従って「enter」を押します。これで新しい暗証番号が有効になります。



DEFAULTS (初期状態)

設定メニューを工場出荷時の状態に戻すときは、「RESET」にカーソルを移動して「enter」を押します。


DATA DISC NAV (データディスクナビゲーション)

「ディスクを再生する」の「その他のファイル形式」をご覧ください。

ディスクを再生する

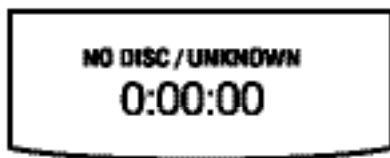
ここでは本機のDVDとCDの再生の仕方とさまざまな特長、機能を説明します。

はじめに*

1. TVの電源を入れ、本機の映像出力画像を出します。
2. TVの音量をミュート(消音)にします。**
3. 本機前面パネルあるいはリモコンの  を押します。

DISCモードにする

4. リモコンのDVDを押します。前面パネルにディスク表示が表れます。




あるいは

前面パネルに「SOURCE DISC」と表示されるまで、「SOURCE + / SOURCE -」を繰り返し押し続けます。少し待つと、上記の表示が出ます。

* CDを聴くには1.と2.は必要ありません。



** 本機の音声出力をTV内蔵スピーカーで聴くときは、TVの音量をミュート(消音)しないでください。

注記

DVDをご覧になっていときに前面パネルやリモコンを使うコマンドを入力すると、画面に  マークが出ることがあります。これは、その時点ではコマンド実行が不可能であること、あるいは再生中のタイトル/チャプターが終わってから入力してください、ということの意味します。















DVD機能の中には、ディスクによって実行不能のものもあります。ご使用のDVDの解説を参照してください。

本項に関連するアイコン一覧

アイコン	意味
	DVDに関連した機能です。
	CD、CD-R、CD-RWのための機能です。

前面パネルのディスプレイ

前面パネルのディスプレイに使われるシンボル

	再生
	一時停止
	停止
	「PLAY」を押して継続
	次のチャプター/トラックへスキップする
	前のチャプター/トラックへスキップする
	早送り(サーチ)
	早戻し(逆サーチ)
	ゆっくりと早送り(スローサーチ)
	ゆっくりと早戻し(スロー逆サーチ)
	スキャン再生
	スキャン逆再生
	スロースキャン再生
	スロースキャン逆再生

再生中のディスクの時間情報も表示されます。

リモコンのDISP(ディスプレイ)を押すたびに以下の順序で情報が表示されます。

前面パネルの表示	意味
(シンボルなし)	チャプター/トラックの経過時間
-	チャプター/トラックの残り時間
T	全体の経過時間
T -	全体の残り時間



DVD の時間情報はTV 画面にも表示されます。TV 画面から時間表示を消すには、表示されなくなるまでリモコンの **[DISP]** を繰り返し押します。

DVD と CD のチャプター／トラック情報は、前面ディスプレイ時間表示の左右に表示されます。

DVD の場合

時間表示の左 - 再生中のチャプター番号

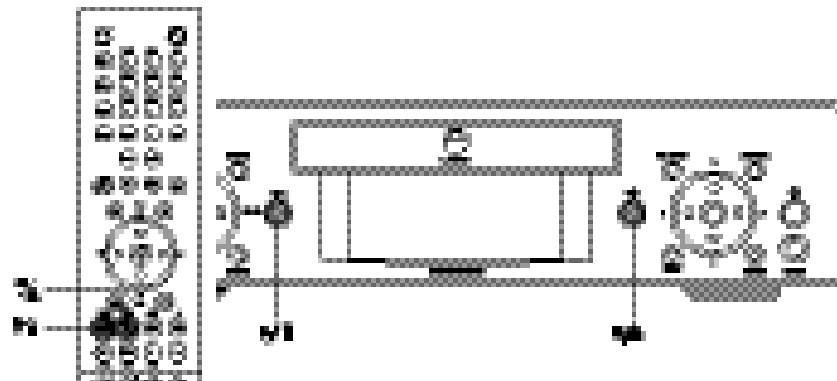
時間表示の右 - 再生中のタイトル番号

CD の場合

時間表示の左 - 再生中のトラック番号

時間表示の右 - 全体のトラック数

基本操作



本機がDISC モードになっているかを確認します (詳細はこの項の「はじめに」をご参照ください)。

ディスク再生

- **■/▲** を押してディスクトレイを開けます。
- 再生する面を下にしてディスクを入れます。
- **■/▲** を押すか、トレイ自体をそっと押して、トレイを閉めます。
- DVD は自動的に再生を始めます。CD を再生するには、**▶/||** を押します。

注 記

ディスク再生面にキズをつけないように気をつけてください。ディスクにキズがあると正しく再生できないことがあります。特にDVD の場合は気をつけてください。

DVD の再生が始まるまで10 秒ほどかかることがあります。

ディスクの一時停止

- ▶/|| を押します。
- 再び ▶/|| を押すと、再生に戻ります。

再生を停止する

- ■/▲ を押ししてください。

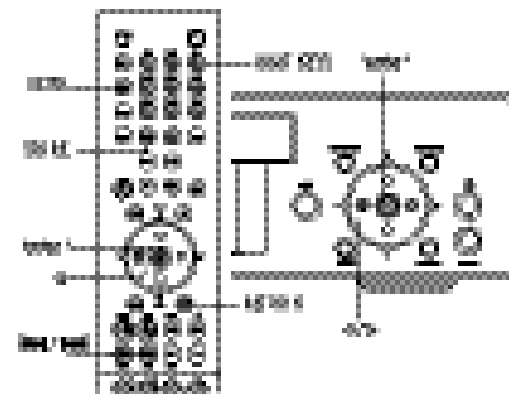
再生を停止しディスクを取り出す

- ■/▲ を押し続けると、ディスクトレイが開きます。
- ディスクを取り出し、■/▲ を押すか、トレイをそっと押して閉めます。

注 記

ディスクトレイを開けたままにしておいても、2分後に自動的に閉じます。

ディスクのタイトル/チャプター/トラックへ飛ぶ



ダイレクトタイトル選択



メニュー画面を表示中、DVD の特定のタイトルにダイレクトに選ぶ
リモコン使用

- 「GOTO」を押します。TV 画面に再生中のタイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル番号を入力します。
- 「enter」を押します。

タイトル再生中、DVD の別タイトルにダイレクトに飛ぶ

リモコン使用

- 「GOTO」を押し、続けて ◀ を押します。TV 画面に再生中のタイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル番号を入力します。
- 「enter」を押します。



次/前のチャプター/トラックの選択



ディスクのチャプター/トラックを前後にスキップする

リモコン使用

- 前にスキップするには、リモコンの **▶▶** を押し続けるか、繰り返し押します。
- 後ろにスキップするには、リモコンの **◀◀** を押し続けるか、繰り返し押します。

前面パネル使用

- [enter] を押し続けて、[SKIP CHAPTER] または [SKIP TRACK] を表示させます。
- 前にスキップするには **▶** を押し続けるかあるいは繰り返し押します。
- 後ろにスキップするには **◀** を押し続けるかあるいは繰り返し押します。

ダイレクトチャプター選択



タイトルを再生中、DVD の特定のチャプターをダイレクトに選ぶ

リモコン使用

- [GOTO] を押します。TV 画面に再生中のチャプターを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプしたいチャプターの番号を入力します。
- [enter] を押します。

ダイレクトトラック選択



特定のトラックを選ぶ

リモコン使用

- 数字キーでトラック番号を入力します。
- [STORE] を押すか、自動的にトラックが選ばれるまで数秒待ちます。

注 記

プログラムモードが機能しており、トラックがプログラムに含まれていない場合には、トラック選択はできません(本章の「プログラム再生を使う」をご参照ください)。

トラックを繰り返し再生する



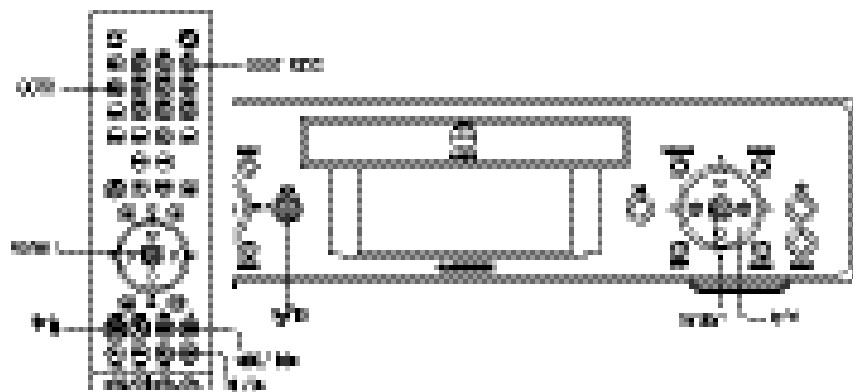
再生中のトラックの頭に戻って再生する

前面パネルまたはリモコンを使用

- [RETURN] を押します。

トラックの頭から再生が始まります。

ディスクの特定ポイントを探す



早送り/早戻し(サーチ)



ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでサーチする

リモコン使用

- 早送りをするには **▶▶** を押し続けます。
- 早戻しをするには **◀◀** を押し続けます。

前面パネル使用

- 前面パネルのディスプレイに「FAST SEARCH」と表示されるまで **[enter]** を押します。
- 早送りをするには **▶** を押し続けます。
- 早戻しをするには **◀** を押し続けます。

スキャン再生/逆再生



ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでスキャンする

リモコン使用

- 2倍速再生するには **▶** を押します。
- ▶ を押すごとに4倍速再生、6倍速再生、8倍速再生になります。さらに **▶** を押すと通常再生に戻ります。
- 2倍速逆再生するには **◀** を押します。
- ◀ を押すごとに4倍速逆再生、6倍速逆再生、8倍速逆再生になります。さらに **◀** を押すと通常再生に戻ります。

前面パネル使用

- 前面パネルのディスプレイに「FAST SCAN」と表示されるまで **[enter]** を押します。
- 2倍速再生するには **▶** を押します。
- ▶ を押すごとに4倍速再生、6倍速再生、8倍速再生になります。さらに **▶** を押すと通常再生に戻ります。
- 2倍速逆再生するには **◀** を押します。
- ◀ を押すごとに4倍速逆再生、6倍速逆再生、8倍速逆再生になります。さらに **◀** を押すと通常再生に戻ります。



スロー再生/逆再生(スローサーチ)



DVD を再生中、コマ送り再生/逆再生する

リモコン使用

- ▶/|| を押して、一時停止します。
- スロー再生するには ▶ を繰り返し押すか、あるいは押し続けます。
- スロー逆再生するには ◀ を繰り返し押すか、あるいは押し続けます。
- ▶/|| を押せば、通常の再生に戻ります。

前面パネル使用

- ▶/|| を押して、一時停止します。
- [enter] を繰り返し押して、前面パネルに [SLOW SEARCH] の表示を出します。
- スロー再生するには ▶ を繰り返し押すか、あるいは押し続けます。
- スロー逆再生するには ◀ を繰り返し押すか、あるいは押し続けます。
- ▶/|| を押せば、通常の再生に戻ります。

スロースキャン再生/逆再生



DVD を再生中、スロー再生/逆再生する

リモコン使用

- ▶/|| を押し一時停止します。
- 1/2 倍速再生するには ▶ を押します。
- ▶ を押しごとに 1/4 倍速再生、1/6 倍速再生、1/8 倍速再生になります。さらに ▶ を押しと通常再生に戻ります。
- 1/2 倍速逆再生するには ◀ を押します。
- ◀ を押しごとに 1/4 倍速逆再生、1/6 倍速逆再生、1/8 倍速逆再生になります。さらに ◀ を押しと通常再生に戻ります。

前面パネル使用

- ▶/|| を押し一時停止します。
- [enter] を繰り返し押して、前面パネルに [SLOW SCAN] の表示を出します。
- 1/2 倍速スキャン再生するには ▶ を押します。
- ▶ を押しごとに 1/4 倍速再生、1/6 倍速再生、1/8 倍速再生になります。さらに ▶ を押しと通常再生に戻ります。
- 1/2 倍速スキャン逆再生するには ◀ を押します。
- ◀ を押しごとに 1/4 倍速逆再生、1/6 倍速逆再生、1/8 倍速逆再生になります。さらに ◀ を押しと通常再生に戻ります。

ダイレクトタイム選択



タイトルを再生中、DVD の特定箇所をダイレクトに選ぶ
リモコン使用

- [GOTO] を押します。TV 画面に再生中のチャプター番号がハイライト表示されます。
- 再度 [GOTO] を押します。
- 数字キーで見たい時間を入力します。時間は6ケタで入力しなければなりません。

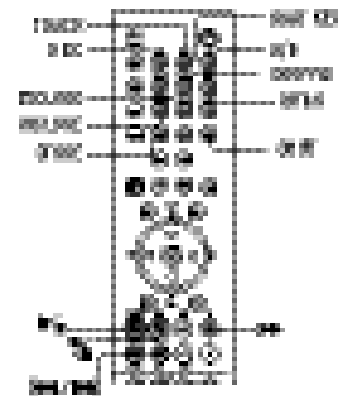
例

DVD の1時間15分32秒の箇所へ飛ぶには0、1、1、5、3、2と押します。

TVに入力した時間が表示されます。

- [enter] を押します。

プログラムモードで再生する



ディスクを繰り返し再生する



ディスク全体あるいはDVD タイトルを繰り返し再生する

リモコン使用

- ディスク再生中、[SHIFT] を押し、2秒以内に [DISC] (数字キーの1) を押します。

前面パネルに [ALL] と表示されます。

ディスク/タイトルが終わると、自動的に再生を繰り返します。

チャプター/トラックの繰り返し再生



特定のチャプター/トラックを繰り返し再生する

リモコン使用

- 選んだチャプター/トラックを再生中に、[SHIFT] を押し、2秒以内に [TRACK] (数字キーの2) を押します。

前面パネルのディスプレイに [ONE] と表示されます。

選んだチャプター/トラックの再生が終わると、自動的に繰り返し再生が始まります。



リピート



ディスクの指定セクションを繰り返し再生する

リモコン使用

ディスクを再生中、繰り返し再生したい部分の最初を選びます。

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「A-B」(数字キーの3)を押しします。

繰り返し再生する部分の最後まで再生を続けます。

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「A-B」を押しします。

「A-B」を2度目に押すと、選んだセクションが自動的に繰り返し再生されます。

繰り返し再生を解除し、通常再生に戻る

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「A-B」を押しします。

ヒント(DVDのみ)

リピート指定セクションの始まりと終わりをうまくマークするために、「SHIFT」[A-B]を押し前に一時停止すると便利です。

シャッフル再生



この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生順にトラックをシャッフルする

リモコン使用

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」(数字キーの5)を押しします。

前面パネルのディスプレイに「SHUFFLE」と表示されます。

- ▶/|| を押すと再生が始まります。

シャッフル再生を解除する

- ■/▲ を押しします。

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」を押しします。

イントロ再生



この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

各トラックの頭の10秒間を順に再生する

リモコン使用

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「INTRO」(数字キーの6)を押しします。

イントロ再生を解除し、通常再生に戻る

- ▶/|| を2回押しします。

プログラム再生



ディスク中で選んだトラックだけを再生します。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生するトラックを選ぶ

リモコン使用

1. 「SHIFT」を押し、2秒以内に「INCLUDE」(数字キーの7)を押しします。

前面パネルのディスプレイに「P01:00」[INCLUDE]と表示されます。

2. 数字キーで指定したいトラック番号を入力します。
3. 「STORE」を押して指定したトラックを保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択保存します。
5. ▶/|| を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去しプログラム再生を解除する

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「INCLUDE」を押しします。

注 記

最大99トラックのプログラム再生ができます。

除外再生



指定したトラックを除外するプログラムです。
ディスクの残りトラックだけが再生されます。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生から除外するトラックを選ぶ

リモコン使用

1. [SHIFT] を押し、2秒以内に [EXCLUDE] (数字キーの8) を押します。

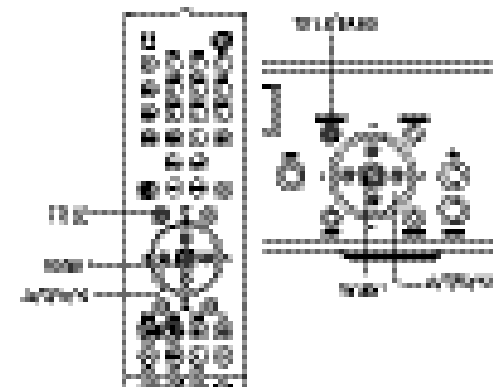
前面パネルのディスプレイに [P01:00] [EXCLUDE] と表示されます。

2. 数字キーで除外したいトラック数を入力します。
3. [STORE] を押し、除外したトラックを保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、除外したいトラックすべてを選択保存します。
5. ▶/|| を押し、プログラムを保存し、除外しなかったトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去する/除外再生モードを解除する

- [SHIFT] を押し、2秒以内に [EXCLUDE] を押します。

DVD メニューを使う



タイトル/DVD メニュー



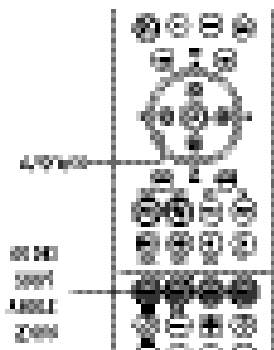
多くのDVDには、再生したい部分を選択したり、機能を変更したりできるタイトルメニューがあります。

タイトル/DVD メニューを見る

- リモコンの [TITLE] あるいは前面パネルの [TITLE/BAND] メニューを押します。TV画面にタイトル/DVDメニューが表示されます。
- 見たいタイトル、変更したい機能を ▲/▼/◀/▶ で選びます。
- [enter] を押します。



DVD をさらに使いこなす



言語選択

DVD の音声言語を選ぶ

リモコン使用

- [AUDIO] を繰り返し押します。

字幕

表示可能な字幕の中から選ぶ

リモコン使用

- [SUB-T] を押します。

アングル選択

DVD の中には、同一シーンを複数のカメラ (視点) で収めたマルチアングル機能を持つディスクがあります。

アングル選択を行う

リモコン使用

- [ANGLE] を押します。

別アングルが選択されます。

さらに [ANGLE] を押すと次のアングルが選べます。

ズームとパン機能

ズーム機能により、DVD の映像をさまざまに拡大して見ることができます。
パン機能では、拡大したDVD の映像の左右上下へ移動して見ることができます。

DVD を再生中あるいは一時停止中にズーム機能を使う

リモコン使用

- [ZOOM] を押します。

映像が1.5 倍の拡大映像に変わり、TV 画面に1.5 倍のズーム映像が表示されます。

[ZOOM] を押すごとに2 倍、4 倍のズーム映像になります。

さらに [ZOOM] を押すと通常再生に戻ります。


拡大した映像をパンする:

- リモコンの Δ / ∇ / \blacktriangleleft / \blacktriangleright を繰り返し押します。

その他のファイル形式

本機器では上記に加えて、次のようなファイルを再生することができます。
データディスクに取められたMP3、JPEG、MPEG 2

ファイルの再生



1. TVのスイッチを入れ、本機器の映像出力信号に合わせます。
2. TVの音声をミュートにします*。
3. 本機器の前面パネルまたはリモコンの  を押します。
4. DISCモードになっていなければ、リモコンの「DVD」を押してください。
5. 再生するディスクをユニットに入れます。数秒後、TVに「DISC NAVIGATION」の画面が出て、ディスクのフォルダ構成を表示します。

注 記

ディスク内容を見るには、セットアップメニュー「PREFERENCES」(お好み設定)の「DISC NAV」が「MENU ON」に設定されている必要があります(「セットアップメニュー」の項をご参照ください)。



6. 次の手順に従います。





リモコン使用

フォルダ/アイテムの間を移動するには  /  を使います。






フォルダの内容を見るには、フォルダにカーソルを当てて「enter」を押します。

アイテムを再生するには、アイテムにカーソルを当てて「enter」を押します。

アイテム中で、前後に飛ぶときは、 /  を押します。

MP3やMPEG 2ファイル再生中にサーチ/逆サーチを行うときは、 /  を押します。
再生を停止するには、 /  を押します。

注 記

セットアップメニューの「DISC NAV」が「NO MENU」に設定されている場合、「enter」を押すと、本機器に挿入されたディスクは、最初のフォルダの最初のアイテムから再生し始めます。
, , , ,  キーの機能は上記の通りです。

CLASSIK Movie Diには、MP3、JPEG、MPEG2ファイルを再生する追加機能があります。ホームページ(www.classik.com)で、この機能に関するpdf文書が入手できます。

*本機器の音声をTV内蔵スピーカーのみで聴く場合は、TV音声をミュートしないでください。

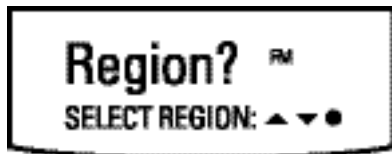


チューナー

ここでは本機のチューナーとさまざまな特長、ユーザー機能を説明します。

セットアップ

最初にチューナーが選択されると、前面パネルに下図のような表示が出ます。




本機をお使いの国のラジオ周波域に正しく合わせる必要があります。リモコンの ▲/▼ キーで該当する地域(ヨーロッパ、米国、日本)を選び、「enter」を押します。正しい設定に自信がなければ、最寄りの販売店にご相談ください。

リージョン設定を変更するには

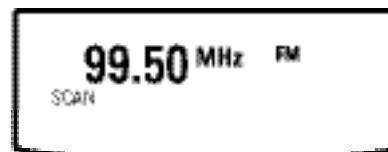
- リモコン上の「TUNER」ボタンを押します。
- リモコン上の「SIGNAL」ボタンを押します。フロントパネルに信号強度が表示されます。
- リモコンの数字ボタン「2」をディスプレイにRegion?が表示されるまで、約10秒押し続けてください。
- リモコン上の ▲/▼ ボタンを押し希望のリージョンを選択したのち、「enter」キーで確定します。

はじめに

1. 前面パネルの  を押します。

チューナーモードにする

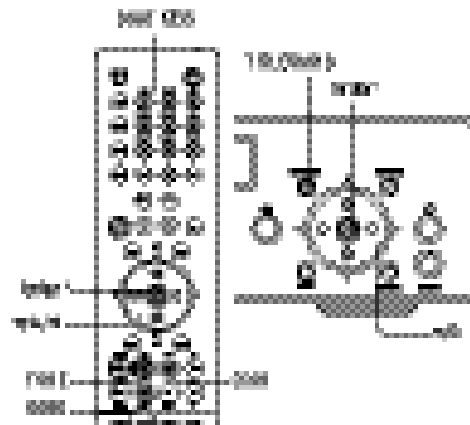
2. リモコンの「TUNER」を押します。前面パネルのディスプレイにチューナー表示が出ます。



あるいは

「SOURCE TUNER」と表示されるまで「SOURCE +/ SOURCE -」を押し続けます。数秒後、上記のように表示が変わります。

チューニング機能



本機がチューナーモードになっていることを確認します(この項の「はじめに」をご参照ください)。

AM/FM 帯域の選択

AM/FM 放送を切り替える

- リモコンの「BAND」あるいは前面パネルの「TITLE/BAND」を押します。

前面パネルに選ばれたバンドが表示されます。

周波数の選択

受信周波数を上げ下げする

リモコン使用

- 「TUNE」を押します。

前面パネルに「TUNE」と表示されます。

- 周波数を上げ下げするには ▲/▼ を押し続けます。
あるいは
- 数字キーで周波数を入力します。周波数を入力するとそれが有効であるかどうかを自動的に確認します。入力を誤った場合は ◀ を押して解除します。

前面パネルまたはリモコン使用

- 前面パネルに「TUNE」と表示されるまで「enter」を繰り返し押します。
- 周波数を上げるには ▲ キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 周波数を下げるには ▼ キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます。

信号サーチ

信号が見つかるまでAMあるいはFM帯域を上下します。

信号をサーチする

リモコン使用

- 前面パネルに「SEARCH」と出るまで、「SCAN」を長めに押します。
- 次の信号を見つけるには ▲ キーを押します。
- 前の信号を見つけるには ▼ キーを押します。

前面パネルまたはリモコン使用

- 「SEARCH」と表示が出るまで、繰り返し「enter」を押します。
- 次の信号を見つけるには ▲ キーを押します。
- 前の信号を見つけるには ▼ キーを押します。

注 記

ミュートレベル以下の信号はスキップされます(詳細は次ページ「信号のミュートレベル」の項をご参照ください)。

信号スキャン

これは信号サーチ(左記)と同一機能です。ただし、信号スキャンは信号が見つかった後5秒間その信号を受信し、自動的にスキャンし続けます。

信号をスキャンする

リモコン使用

- 「SCAN」を繰り返し長めに押して、前面パネルに「SCAN」の表示を出します。
- 信号を前にスキャンするには ▲ キーを押します。
- 信号を後にスキャンするには ▼ キーを押します。

前面パネルまたはリモコン使用

- 「enter」を繰り返し押して、前面パネルに「SCAN」の表示を出します。
- 信号を前にスキャンするには ▲ キーを押します。
- 信号を後にスキャンするには ▼ キーを押します。

信号スキャンを止める

前面パネルまたはリモコン使用

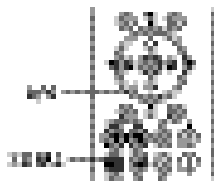
- 「SCAN」または「enter」を押します。

注 記

ミュートレベル以下の信号はスキップされます(詳細は次ページ「信号のミュートレベル」の項をご参照ください)。



信号ミュートレベル



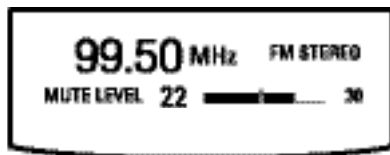
この機能は設定レベルよりも低い信号しか受信できないときに出力をミュート(消音)します。

例
ミュートレベルを25に設定している場合、25に達しない信号を受信するとミュートします。

ミュートレベルと信号の強さを表示する

リモコン使用

- 「SIGNAL」を押します。



前面パネルのディスプレイに「MUTE LEVEL」とその値、次にミュートレベルの表示バーが表示されます。

現在の信号の強さは表示部の右端に出ます。信号の強さの範囲は0(無信号)～50(最強信号)です。表示バーは受信信号の強さに比例して変動します。

信号ミュートレベルを調整する

リモコン使用

- 「SIGNAL」を押したあと、信号ミュートレベルを上下するには▶/◀キーを押すかあるいは押し続けます。

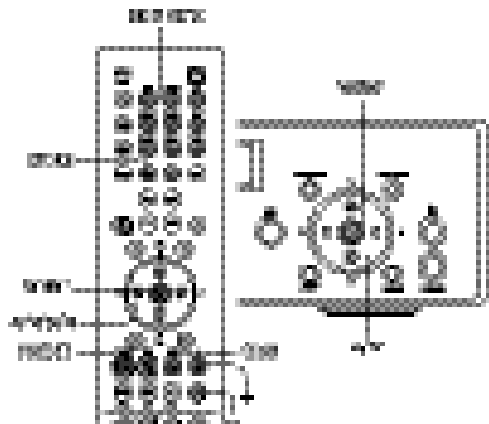
信号ミュートレベルが調整された2分後、表示は前の表示へ戻ります。

注 記

信号ミュートレベルは工場出荷時15に設定されています。

プリセット機能

ここではプリセットした周波数の保存のしかたと利用手順を説明します(最大200)。



プリセット保存

周波数をプリセットして保存する

リモコン使用

1. 保存したい周波数を受信します。
 2. **[STORE]** を押します。
前面パネルのディスプレイに点滅するバーが表れ、その下に次のような表示が出ます。
STORE: ▲ ▼ ● 0.9 ◀ ▶ - + TO EDIT
 3. 最大10文字で名称をプリセットできます。
リモコンの以下のキーで名前を入力します。
▲/▼ A-Z, 0~9、よく使う記号が順に出てきます。
[enter] 大文字と小文字を切り替えます。
数字キー 電話キーと同じ方法で数字とアルファベットを入力します。すなわち、2を繰り返して押すとA/B/C/2、3ならD/E/F/3Cが順に出ます。
- 文字/数字/記号を選んでいるとき、次のスペースへ移動するには ▶ キーを押します。
 - 文字を変更したり消去したりするには、文字が点滅するまで ◀/▶ キーを押し、それから新しい文字を入力、あるいは「-」キーで消去します。

- 文字を挿入するには、新しい文字を挿入したい箇所まで ◀/▶ キーで移動し、「+」キーを押します。点滅する文字以下は1文字分開けて右に寄ります。そこに新しい文字を加えます。

4. プリセット名を入力し終わったら、**[STORE]** を押します。

自動プリセット保存

すべての受信可能な信号を自動的にスキャンしそれらをプリセット保存する
リモコンの場合

- **[STORE]** を押します。
- **[SCAN]** を2度押します。前面パネルのディスプレイに[AUTOSTORE SEARCHING]と表示されます。

自動プリセット保存がスタートし、最低周波数から最高周波数まで続きます。
各信号が見つかったら周波数をプリセット保存するために5秒間小休止します。

- 5秒の小休止をスキップして周波数プリセット保存をするときは、「+」キーを押します。スキャンを続行します。
- 5秒の小休止をスキップし、かつ周波数プリセット保存をしないときは「-」キーを押します。スキャンを続行します。

スキャンはチューナーが最大周波数へ到達すると自動的に止まります。

注 記

ミュートレベル以下の信号はスキップされます(詳細は本章「信号のミュートレベル」の項をご参照ください)。

保存された周波数はラジオ帯域と保存された順に「[FM1]」「[FM2]」「[FM3]」といったように自動的に名前がつけられます。空欄にお好みの名前を付けることができます。またプリセットとはまったく異なる名前をつけることもできます(「プリセット保存」をご参照ください)。

自動プリセット保存はAMとFM帯域で別々に実行しなければなりません。

一度保存した周波数を再度保存することはできません。



プリセット選択

プリセットを選ぶ

リモコン使用

- 「PRESET」を押します。

前面パネルのディスプレイに「PRESET」が表示されます。

- プリセットを選ぶには、▲/▼ キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます (▲ キーを押すとまず数字、次にアルファベット順でプリセットが表示されます。▼ では表示順が逆になります)。

あるいは

◀/▶ キーで、アルファベット各文字の最後/最初のプリセットを選びます。

あるいは

リモコンの数字キーで、プリセット名の最初の文字を入力します。最初の文字が A/B/C/2 なら数字キーの2、D/E/F/3 ならキーの3を使います。

前面パネルのディスプレイにプリセット名が表示されます。

前面パネルまたはリモコン使用

- 「enter」を繰り返し押して、前面パネルに「PRESET」の表示を出します。
- プリセットを上に進めるには ▲ キーを押すかあるいは押し続けます。
- プリセットを下に進めるには ▼ キーを押すかあるいは押し続けます。

プリセット削除

プリセットを削除する

リモコン使用

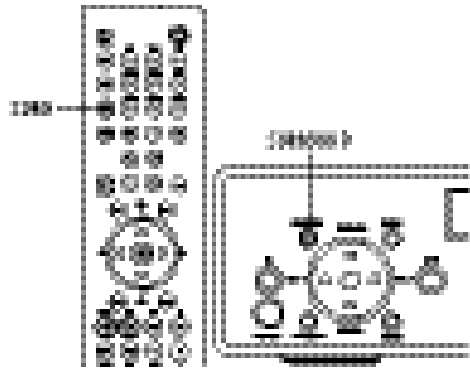
- 「PRESET」を押します。
- ▲/▼ キーで削除したいプリセットを選びます。
- 「PRESET」を押し続けると、前面パネルに「PRESS ● TO CLEAR」と表示されます。
- 「enter」を押します。ディスプレイは「PRESET CLEARED」となります。

すべてのプリセットを削除する

リモコン使用

- 「PRESET」を短く押します。
- 「PRESET」を長く押して、前面ディスプレイに「PRESS ● TO CLEAR」と表示させます。
- 「enter」を押し続けて、ディスプレイに「ALL PRESETS CLEARED」を出します。

サラウンドサウンドとオーディオモード



ほとんどのDVDには1枚のディスクに複数のサラウンド音声が入っています。代表的なものに、DTS、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルステレオなどがあります。

DVDメニューでサラウンド音声を選ぶと(本章の「DVDメニューを使う」をご参照ください)、必要ならスピーカーの数を限定するよう音声モードを修正することができます。

有効なオプション

音声モード	使用スピーカー
DTS Full*	5.1チャンネル用(フルレンジスピーカー5本とサブウーファー)
As Mix	接続スピーカーすべてで再生(最高6本)
3 Stereo	フロントとセンター(装備してある場合はサブウーファーも)
Phantom	フロントとリア(装備してある場合はサブウーファーも)
Stereo**	フロントのみ(オーディオCD用デフォルト)
Stereo + Sub	フロントとサブウーファー

* DTSフォーマットのディスクでのみ有効。

** 本機器の出力音声をTV内蔵スピーカーだけで聴く場合にはこれを選択。

注 記

本機器は、AAC、DTS、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルステレオ、上記音声モードのデジタル入力もサポートします。

有効な音声モードを切り替える

- 前面パネルの「SURROUND」あるいはリモコンの「SURR」を繰り返し押します。前面パネルのディスプレイに音声モードが表示されます。

「セットアップメニュー」に入ることなくドルビープロロジックIIモードを変更できます(「セットアップメニュー」の「ドルビープロロジックIIモード」の項を参照)。

ドルビープロロジックIIモード(現在の音声モードは「As Mix」、[3 Stereo]、あるいは「Phantom」であること)を変更する:

- 前面パネルの「SURROUND」キー、またはリモコンの「SURR」を押します。現在の音声モードが画面に表示されます。
- 「SURROUND」または「SURR」を押し続けます。現在のプロロジックモードが画面に表示されます。
- 「SURROUND」または「SURR」を繰り返し押して、異なるプロロジックモードの中から選択します。

注 記

「DTS FULL」を除く上記のすべての音声モードは、セットアップメニューでプロロジックオプションが「ON」または「AUTO」に設定してあれば、CD再生時にも有効です*。

ドルビーデジタルステレオのディスクでは、「ステレオ」と「ステレオ+サブ」以外の上記音声モードを使用したい場合、セットアップメニューでプロロジックオプションを「ON」または「AUTO」に設定する必要があります。(「セットアップメニュー」の章をご参照ください)。

* ディスクにDTS音声トラックが備わっている場合を除きます。

深夜映画モード

DVDでドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とすオプションです。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。

深夜映画モードをオン/オフする:

- 前面パネルの「SURROUND」キーまたはリモコンの「SURR」を押し続けます。深夜映画の現在の設定が画面に表示されます。
- この設定を変更するには、「SURROUND」または「SURR」を押します。

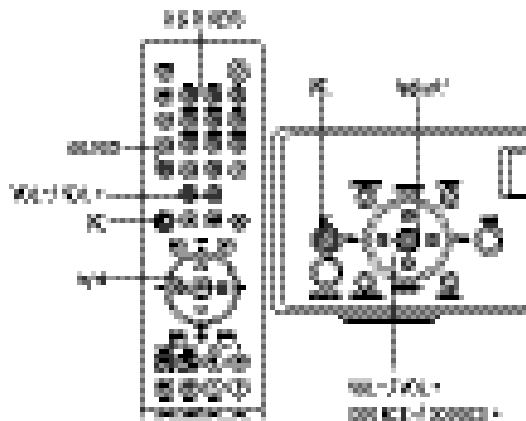
プリアンプ部

ここでは本機のプリアンプ部の操作方法およびさまざまな特長、ユーザー機能を説明します。

注 記

プリアンプ機能进行操作するために、まず本機をいずれかのソースモードにセットしてください。

音量とミュート (消音)





音量調整

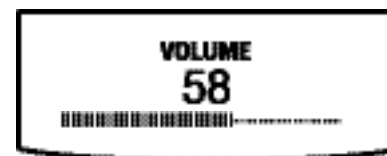
音量範囲は0～100です。



重 要

過大音量はあなたの聴覚とオーディオ機器にダメージを与えることになります。

音量を調整する

- 前面パネルの「VOL - / VOL +」またはリモコンの  /  キーを押すかあるいは押し続けます。
- あるいは
- 前面パネルのディスプレイに音量表示が出るまで、前面パネルの「adjust」、リモコンの「ADJUST」を繰り返し押します。




- 音量を上げるにはリモコンの  キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 音量を下げるにはリモコンの  キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます。

音量表示画面から出る

- 前面パネルの「SOURCE+ / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
- あるいは
- 前の表示に戻るまで数秒待ちます。

ミュート (消音) とミュート解除

音声ソースをミュート / ミュートを解除する

-  を押します。

注 記

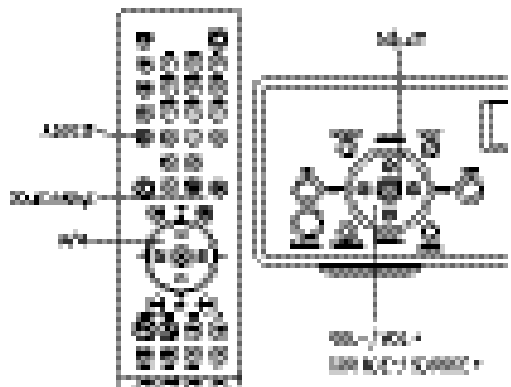
本機にヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーへの音声出力がミュートされます。



LINN

トリム調整

サブウーファートリム

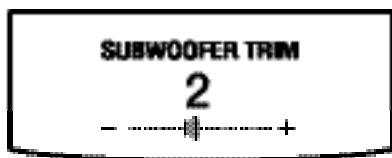


AVシステムにサブウーファーを使う場合、DVDを見たりCDを聞いたりする際に、他のスピーカーに影響を与えずに、その音量調整をしたい場合があるかもしれません。これはサブウーファートリムを調整して行います。

サブウーファーのレベル範囲は-10～+10です。ニュートラルレベルは0です。

サブウーファートリムレベルを調整する

- 前面パネルの「adjust」またはリモコンの「ADJUST」を繰り返し押して、サブウーファートリム表示を出します。



- トリムレベルを上げるには、リモコンの **▶** キーまたは前面パネルの「VOL +」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- レベルを下げるにはリモコンの **◀** キーまたは前面パネルの「VOL -」キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます

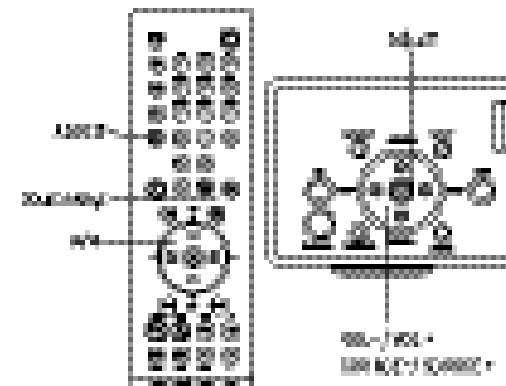
サブウーファートリム調整から出る

- 前面パネルの「SOURCE + / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
あるいは
- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。



LINN

センタースピーカートリム



AV / ハイファイシステムにセンタースピーカーを使う場合、DVDを見たりCDを聞いたりする際に、他のスピーカーに影響を与えずに、センタースピーカーの音量調整をしたい場合があるかもしれません。これは、センタースピーカートリムを調整して行います。

センタースピーカートリムの範囲は-10～+10です。ニュートラルレベルは0です。

センタースピーカートリムのレベルを調整する

- 前面パネルの「adjust」またはリモコンの「ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルにセンタースピーカートリム表示を出します。



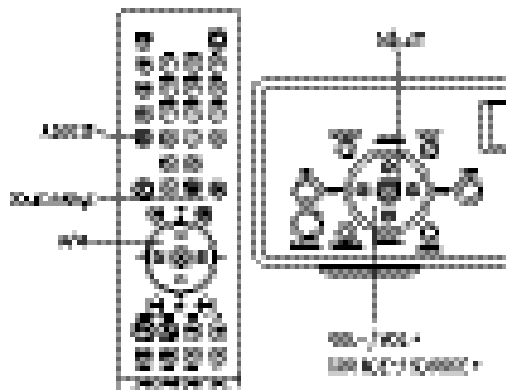
- トリムレベルを上げるには、リモコンの **▶** キーまたは前面パネルの「VOL +」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- レベルを下げるにはリモコンの **◀** キーまたは前面パネルの「VOL -」キーを繰り返し押すかあるいは押し続けます

センタースピーカートリム調整から出る

- 前面パネルの「SOURCE + / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
あるいは
- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。



バランス調整



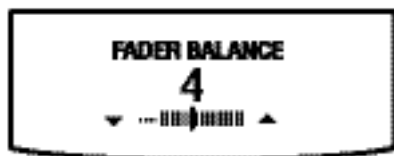
フェーダーバランス

この機能はフロントとリアスピーカー間のバランスを変えます。

フェーダーバランス範囲はフロント10段階、リア10段階です。ニュートラルバランスは0です。

フェーダーバランスを変える

- 前面パネルの「adjust」またはリモコンの「ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルにフェーダーバランス表示を出します。



- フェーダーバランスをフロントへ動かすには、リモコンの「▶」キーまたは前面パネルの「VOL +」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- フェーダーバランスをリアへ動かすには、リモコンの「◀」キーまたは前面パネルの「VOL -」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

フェーダーバランス調整から出る

- 前面パネルの「SOURCE + / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
あるいは
- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

注 記

フェーダーバランス調整はセンタースピーカーに影響を与えますが、サブウーファーには影響しません。

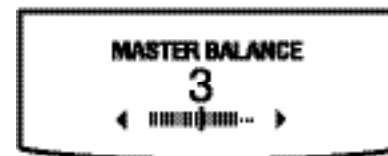
マスターバランス

この機能は左右スピーカー間のバランスを変えます。

マスターバランス範囲は左10段階、右10段階です。ニュートラルバランスは0です。

マスターバランスを変える

- 前面パネルの「adjust」またはリモコンの「ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルにマスターバランス表示を出します。



- マスターバランスを左へ動かすには、リモコンの「◀」キーまたは前面パネルの「VOL +」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- マスターバランスを右へ動かすには、リモコンの「▶」キーまたは前面パネルの「VOL -」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

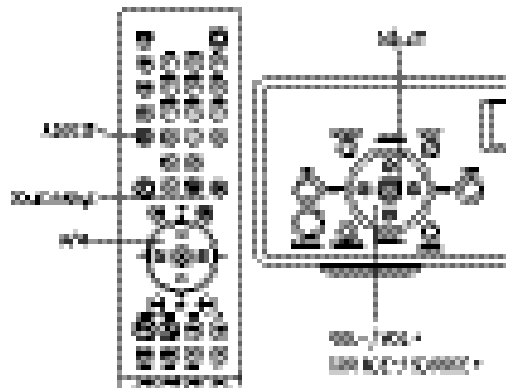
マスターバランス調整から出る

- 前面パネルの「SOURCE + / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
あるいは
- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

注 記

マスターバランス調整は、センタースピーカーにもサブウーファーにも影響しません。

低域と高域の調整



低域調整

低域の調整範囲は-7 ~ +7です。ニュートラルは0です。

低域レベルを調整する

- 前面パネルの「adjust」またはリモコンの「ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルに低域表示を出します。



- 低域レベルを上げるには、リモコンの ▶ キーまたは前面パネルの「VOL +」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 低域レベルを下げるには、リモコンの ◀ キーまたは前面パネルの「VOL -」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

低域調整から出る

- 前面パネルの「SOURCE + / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
あるいは
- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

高域調整

広域の調整範囲は-7 ~ +7です。ニュートラルは0です。

高域レベルを調整する

- 前面パネルの「adjust」またはリモコンの「ADJUST」を繰り返し押して、前面パネルに高域表示を出します。



- 高域レベルを上げるには、リモコンの ▶ キーまたは前面パネルの「VOL +」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 高域レベルを下げるには、リモコンの ◀ キーまたは前面パネルの「VOL -」を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

高域調整から出る

- 前面パネルの「SOURCE + / SOURCE -」またはリモコンの使用ソースキーを押します。
あるいは
- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。



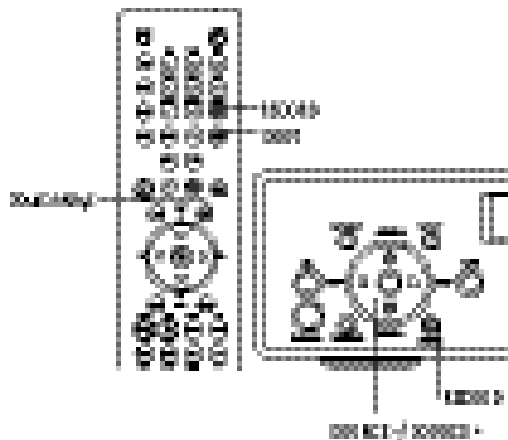
ソースのレコーディング

ディスク、チューナー、あるいはAUX 入力の信号をCLASSIK Movie Di に接続された録音機器 (DAT レコーダー、VCR など) に送ることができます。

利用する入力を選択するだけで信号を録音機器に送ることができます。(CLASSIK Movie Di の出力によって、現在選択しているソースの音声・映像信号が常時送られます。)

注 記

著作権保護のため、DVD によっては録画できない保護システムが組み込まれていることがあります。



録音録画ロック

録音録画ロックを使用すると、録音・録画中に録音・録画ソースを変更できないようにすることができます。

録音録画ロックをオンにする:

リモコン使用

- 録音・録画するソース名を画面に表示した状態で、「SHIFT」を押してから2秒以内に「RECORD」を押します。画面に「SOURCE (RECORD LOCKED)」が表示されます。

前面パネル使用

- 録音・録画する入力を画面に表示した状態で「RECORD」を押します。画面に「SOURCE (RECORD LOCKED)」が表示されます。

録音録画ロックをオフにする:

リモコン使用

- 入力を画面に表示した状態で、「SHIFT」を押してから2秒以内に「RECORD」を押します。「(RECORD LOCKED)」が画面から消えます。

前面パネル使用

- 入力名を画面に表示した状態で「RECORD」を押します。「(RECORD LOCKED)」が画面から消えます。

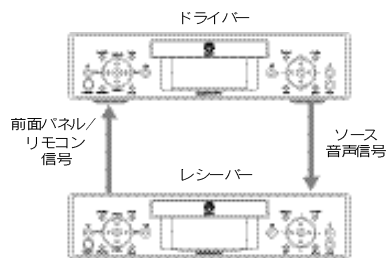
コネクトシステムの特長

ここでは本機を2台以上接続して使用するコネクトシステムの操作方法を説明します。

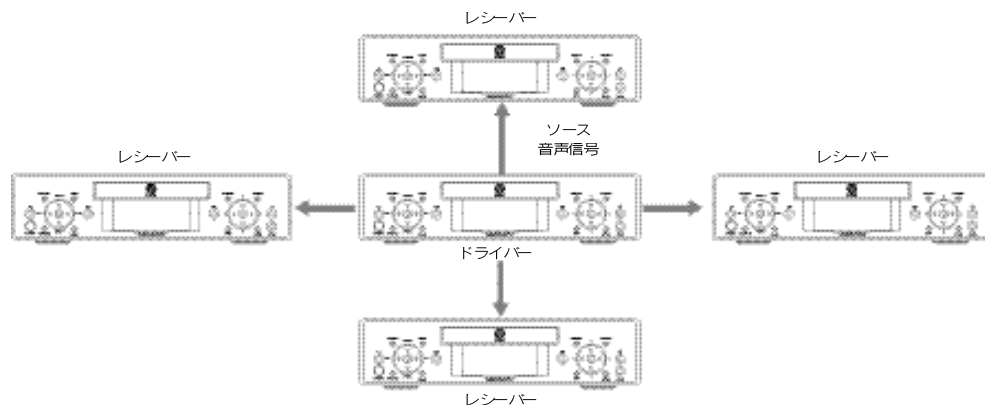
コネクト (CONNECT) について

コネクトは、レシーバーユニット(受信機)として働く最大4台のCLASSIK Movie Diをドライバーユニット(送信機)として働くもう1台のCLASSIK Movie Diにリンクする機能です。

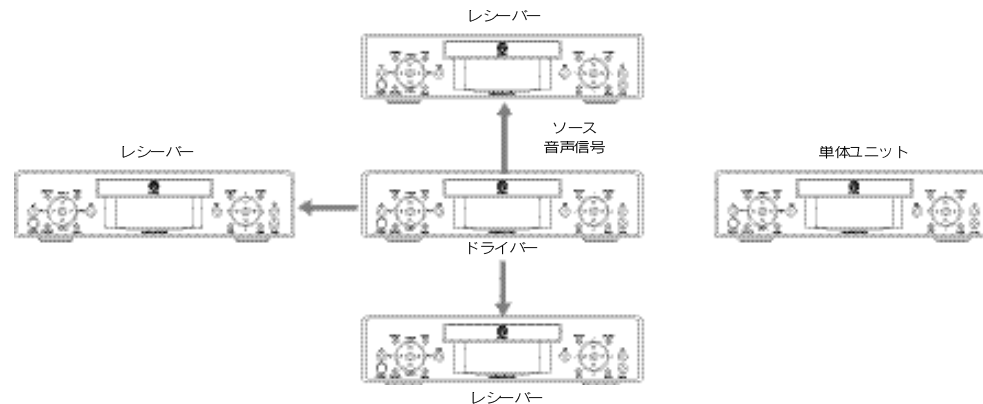
ドライバーユニットと、レシーバーユニットを専用ケーブルで接続することで、前面パネルやリモコンの信号のやりとり、ドライバーからレシーバーへのソース音声信号(CD音声、チューナー信号など)の送信を可能にします。このため、いずれのレシーバーからでもドライバーユニットをリモートコントロールすることができます。例えば、レシーバーユニットのあるベッドルームにしながら、リビングのドライバーユニットで再生するCDを聴くことができます。



また、ドライバーユニットから全レシーバーユニットをコントロールする機能もあります。5つの部屋で同じCDや同じラジオプログラムを聴くことができ、パーティを開いた時などに便利です。



ドライバーとレシーバーユニットはそれぞれ単体ユニットとしても使用できます。

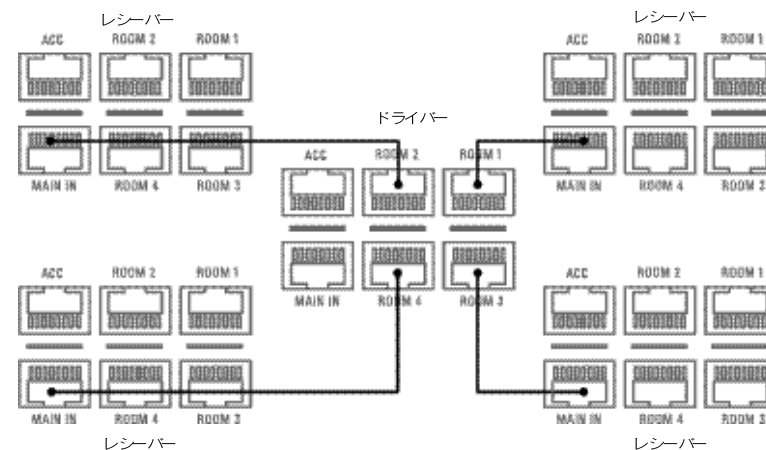


コネクトシステムを設定する

CAT5 ケーブルで各CLASSIK Movie Diを接続します(コンピューター用標準CAT5ケーブルは使用できません。リン製品販売店で専用ケーブルをお求めください)。

1. 適切な長さのケーブルを壁やドア周りに沿って配線し、壁などにしっかり固定します。
2. すべてのユニットの電源ケーブルははずしておきます。
3. 下図のようにユニットをケーブルで接続します。

コネクトシステムの設置は、リン製品販売店にご依頼いただくこともできます。



ドライバーユニットはレシーバーに標準ステレオ音声を送ります。従って、システムの各レシーバーには2本のスピーカーを接続する必要があります。



メインモードとローカルモード

本機をコネクトシステムのレシーバーとして使用するには2つの動作モードがあります。

メインモード: このモードでは、レシーバーがドライバーユニットの音声ソースをコントロールします。

ローカルモード: このモードでは、レシーバーは単体ユニットとして機能します。

メインモード／ローカルモードの切り替え

レシーバーユニットのメインモードとローカルモードを切り替える

- 前面パネルの [MAIN/LOCAL] を押します。

前面パネルのディスプレイに、ユニットがメインモードでは [MAIN] と表示され、ローカルモードでは表示が消えます。

注記

メインモードのとき、レシーバーユニット自体のソースは無効です。すなわち、まずローカルモードに切り替えなければ、レシーバーユニットでCDは聴けないことになります。

ドライバーユニットはソースとしてレシーバーを選ぶことはできません。つまり、レシーバーユニットで再生するCDをドライバーユニットで聴くことはできません。

ドライバーがレシーバーへ送る音声信号は標準ステレオ信号です。サラウンドサウンドモード(プロロジックやDTSなど)をメインモードになっているレシーバーユニットで再生することはできません。

ドライバーユニットは常にメインモードで作動しているため、ドライバーの前面パネルの [MAIN / LOCAL] を押してもローカルモードに切り替えることはできません。[MAIN] はドライバーの前面パネルには表示されません。

レシーバーユニットからドライバーユニットを操作する

メインモードのとき、レシーバーユニットはドライバーユニットのどの音声ソース(CD/チューナー/DVD音声信号/AUX音声ソース)でも選択し、再生操作することができます。CDにおけるトラックのスキップ、チューナープリセットのスキップも可能で、本機のほとんどすべての機能が使えます。

ドライバーユニットでは、一時に聴けるのはひとつのソースのみです。誰かがドライバーでCDを聴いているとき、もう一人がレシーバーユニットからドライバーユニットのチューナーにプリセットされたものを聴くことはできません。

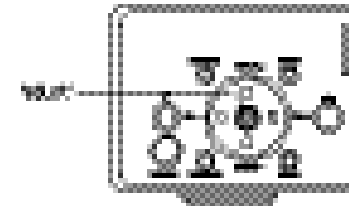
レシーバーユニットの前面ディスプレイにはドライバーの前面ディスプレイと同じ情報が表示されます。メインモードになっている全てのレシーバーには、ドライバーのディスプレイと同じ情報が表示されます。

注記

レシーバーユニットにない機能は、

- ドライバーユニットの音量調整
- ドライバーユニットのミュートおよびミュート解除
- ドライバーユニットをスタンバイ状態にすること

パーティモード



ドライバーユニットがパーティモードのとき、レシーバーユニットへの操作が制限されます。この機能は、全てのレシーバーユニットに同一のソース(CD、ラジオプログラムなど)を配信するパーティなどの状況で便利です。

ドライバーユニットからパーティモードの設定/解除ができますが、各レシーバーユニットがパーティモードに加わるか、加わらないかはレシーバーユニットそれぞれで選ぶことができます。

ドライバーユニットをパーティモードにする

- [adjust] を押し、ディスプレイを音量表示にします。
- ディスプレイに [PARTY ON] と表示されるまで [adjust] を押し続けます。

すべてのレシーバーは自動的にパーティモードに設定され、前面ディスプレイに [PARTY ON] と表示されます。

注 記

パーティモードが設定されると、スタンバイ状態のどのレシーバーにも電源が入りパーティモードになります。

ドライバーユニットのパーティモードを無効にする

- 前面ディスプレイに [PARTY OFF] と表示されるまで [adjust] を押し続けます。

パーティモード制限

パーティモードにはいくつか制限があります (レシーバーはメインモードに設定されている状態を想定します)。

- ドライバーユニットの音量を変えるとレシーバーの音量も変わります。ただし、レシーバーの音量を変えても、影響があるのはそのレシーバーだけです (次の項を参照してください)。
- ミュートができるのは、ドライバー、レシーバーとも直接操作する機器だけです。
- レシーバーはドライバーユニットのソースを替えたり操作したりすることはできません。レシーバーユニットからドライバーユニットのソースを替えようとしたり、またレシーバーの [MAIN / LOCAL] を押ししたりすると、前面ディスプレイに [**PARTY**] と表示されます。
- ドライバーユニットをスタンバイ状態にするとレシーバーもスタンバイ状態になり、そのためレシーバーのパーティモードも無効になります。一方レシーバーの1台をスタンバイ状態にしても、影響を受けるのはその機器だけです。
- ドライバーユニットをスタンバイ状態から再びパーティモードとすると、レシーバーユニットもスタンバイ状態から立ち上がります。一方レシーバーの1台をスタンバイ状態からオンにしても、影響を受けるのはその機器だけです。

パーティモードにおける音量操作

ドライバーユニットはそのものの音量はもちろん、メインモードとなっているレシーバーユニットの音量も同時に調整します。これによりレシーバーユニットの音量は、ドライバーユニットとは別に、1台ずつ設定することができます。

ドライバーユニットの音量を変えると、どのレシーバーユニットも、元の音量差を保ちながら変化します。例えば、ドライバーユニットの音量が40、レシーバーユニットの音量が65の時、ドライバーユニットの音量を30へ下げると、同時にレシーバーユニットの音量は55に下がります。ドライバーユニットの音量を0にすると、レシーバーユニットは25に下がります。ドライバーユニットに対してそのまま音量を下げ続けると、レシーバーユニットの音量も0に達します。

パーティモードの一時的解除

レシーバーをパーティから切り離して、ローカルモードで作動させることができます。

レシーバーユニットのパーティモードを一時解除する

- [adjust] を押して、前面パネルに音量表示を出します。
- [adjust] を押し続けて、前面パネルに [PARTY POOP] の表示を出します。

パーティモードに再度入るには上記のステップを繰り返します。




ユーザーオプション

ここでは、本機の機能をご使用になる方の希望に合わせて設定する方法を解説します。

ユーザーオプション設定の変更

ユーザーオプション設定を変える

前面パネル使用

- スタンバイ状態にします。
-  を押し続けて、「USER OPTIONS」の表示を出します。
- 希望のユーザーオプションを選ぶには ▲ あるいは ▼ キーを繰り返し押し続けるかあるいは押し続けます。
- ユーザーオプション設定を変えるには ▶ あるいは ◀ キーを繰り返し押し続けるかあるいは押し続けます。

ユーザーオプション一覧

可能なユーザーオプションを以下に簡単にまとめました。工場出荷時の設定は太字で記載されています。

オプション/名称	内容	設定
Set display brightness	前面パネルのディスプレイの明るさを調整します。AUTOに設定すると、ユニットが部屋の明るさに応じて適切な明るさを選びます(周囲が明るいほど、ディスプレイも明るくなります)。	AUTO (工場出荷時) 6% - 100%
Enable source memory	オン: 各ソースごとに音量、低域、高域、バランス、フェーダーバランス設定ができます。 オフ: すべてのソースの音量、低域、高域、バランス、フェーダーバランス設定は同一になります。	On Off
Enable IR sensor	リモコン信号を受信(オン)/非受信(オフ)します。	On Off
Set IR modulation: IR out 1	赤外線出力1の周波数設定。工場出荷状態で使用しないとき、周波数は1~576 kHzの範囲に設定できます。	36 kHz 1~576 kHz
Set IR modulation: IR out 2	赤外線出力2の周波数設定。工場出荷状態で使用しないとき、周波数は10~2304Hzの範囲に設定できます。	56 kHz 10~2304 kHz
Configure ACC socket	アクセサリソケット(ACC)の使用を設定します。IRは赤外線受光、RCUはKNEKTリモコンユニット。	IR RCU
Configure Knekt mode	オート: 本体がコネクタあるいはKnektシステム内にあるかどうかを判別します。 メイン: Knektの取扱い説明書をご覧ください。 ルーム: Knektの取扱い説明書をご覧ください。	Auto Main Room
Enable auto-selection: CD	本機に外部CDプレイヤーが接続され、DISCモードでないときに本機がCDリモコンのコマンドを無視するようにしたい場合、オフとしてください。	On Off
Enable auto-selection: Tuner	本機に外部チューナーが接続され、TUNERモードでないときに本機がチューナーのリモコンのコマンドを無視するようにしたい場合、オフとしてください。	On Off


ユーザーオプションを工場出荷時に戻す

前面パネル使用

- 希望のユーザーオプションを選びます。
- 「enter」を押します。

ユーザーオプションモードから出る

前面パネル使用

-  を押します。

ユーザー選択が記憶され本体の電源が入ります。

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応いたします。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください

販売店に関してはホームページをご覧ください。
www.linn.co.uk
www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

Phone: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
Helpline: 0500 888909
Email: helpline@linn.co.uk
Website: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

Phone: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
Helpline: 888-671-LINN
Email: helpline@linninc.com
Website: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19
22761 Hamburg
Deutschland

Phone: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
Email: info@linngmbh.de
Website: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田6-1-4
神田ノーザンビル4F

TEL: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Website: www.linn-jp.com